

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は高止まりの状態が継続しているが、夏祭りなどのイベントが行われたこともあり、上旬から中旬に掛けて地域住民を中心に来街者数の増加がみられた。また、イベント期間外は観光客の入込もみられ、他市ナンバーの車両が目につくことが多かった。それらの駐車状況を見ると、主に飲食、土産で売上を伸ばしたとみられる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月の景気は新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同様の水準に戻っている。また、家族連れで帰省したり、旅行したりといった動きは、以前は夏休み期間に集中することが多かったが、今年は7月中から多くみられたことが特徴となっている。そのため、伸び率としては8月よりも7月の回復が目立っている。
		百貨店（営業販売担当）	単価の動き	・8月から閉店セールを開催していることで、来客数、売上共に増加している。特に衣料品、服飾雑貨がよく売れており、客単価アップにつながっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来街者が戻りつつある。商店街のイベントなどへの参加者も大幅に増えている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比で255.7%、前々年比で239.1%、新型コロナウイルス感染症発生前の2019年比で56.6%となっている。天候に恵まれたことに加えて、行動制限などもなかったことから、観光客が増加している。ただ、新型コロナウイルスの第7波による感染者数が世界一という状況ではこれが精一杯の売上である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているものの、消費者の購買意欲は高くなっている。今年は気温が余り高くならず、秋の気配が早く訪れていることもあり、秋物衣料を中心に動きが活発になっている。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・お盆商戦の期間中は帰省客が増加し、大人数向けのごちそう商材やパーベキュー商材が好調に売れた。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前と比べて、客単価が上昇している。海外からの入国制限の緩和に伴って旅行者が増加するようになれば、一層上向くことが見込まれる。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・各種イベントでの人流が増加している。新車の販売量も増加している。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる感染は心配だが、必要な行動はするという新しい動きがみられる。マスクはするが、購買行動もきちんと行うという新しい動きが出ており、やや活気が戻ってきた。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・少しずつではあるが、来客数が増えつつある。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・3年ぶりに行動制限のない夏季繁忙期を迎えたことから、7月の航空需要は新型コロナウイルス感染症発生前の81%まで回復した。8月のお盆期間は帰省などの生活需要が活発であり、空港では久しぶりに家族を出迎える光景が多くみられた。空港の国内商業施設にもにぎわいが戻っている。
		タクシー運転手 観光名所（従業員）	お客様の様子 来客数の動き	・人の動きがやや良くなっている。 ・期待していた夏休み期間中に新型コロナウイルスの感染拡大傾向がみられたこと、天候不良な日が多かったことなど、マイナス要因が多く、その影響を心配したが、それをしのぐ勢いの利用客がみられた。行列や待ち時間が発生することも多々あった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているが、客の動きは衰えておらず、来客数が伸びている。客の来店頻度も高くなっている。
	美容室（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前までとはいえないが、来客数がやや回復している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、まん延防止等重点措置などが出されていないため、多くの場所で来客数が増えている。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・少しずつ持ち直しつつあるが、原材料の値上げがいまだに続いているため、現時点では何とも判断が付かない。
		一般小売店 [酒](経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が高止まりしていることで人流が停滞しており、飲食店が苦戦している。当社の売上も7月よりも悪い状況となっている。
		百貨店(マネージャー)	来客数の動き	・来客数の前年比をみると、5月が96%、6月が90%、7月が95%、8月が25日時点で90%となっており、若干の減少傾向にある。ただ、ウィンドウショッピングをする客が減っている一方で、買上客数は前年比110%と順調に推移している。4月以降、同様の流れが続いている。
		スーパー(店長)	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の第7波による影響がみられる。行動規制こそ出されていないが、爆発的に感染が拡大しているというネガティブ要因があるため、景気は変わらない。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・お盆商戦については、前年よりも帰省者が増えたこともあり、来客数は微増している。一方、大人数用のすしやオードブルなど、ハレ型商材の動きが例年よりも鈍く、販売量の減少、客単価の低下といった動きがみられる。
		スーパー(企画担当)	お客様の様子	・行動規制が出されていないこともあり、8月は帰省客、観光客が多くみられた。一見すると、景気が良くなっているように見えるが、来客数が前年を下回っていることから、景気はさほど良くなっていない。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・一部で観光客の動きがみられるが、新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、販売量は行ったり来たりを繰り返している。全体的には余り大きな変動はみられず、現状維持での推移となっている。
		コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・商材の値上げもあり、販売量が若干減っても前年の売上を上回っている。ただ、光熱費や人件費の上昇もあり、景気が上向いているわけではない。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・前月と同様の状況が続いている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売台数は順調に推移しているが、部品調達の兼ね合いで納期がかなり遅れることが多いため、売上が立ちにくい状況にある。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売価格に大きな変動がなく、景気を上向かせるような動きもみられないことから、現状維持の状況が続いている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](経営者)	単価の動き	・石油製品価格に特段の変化がみられないことから、景気は変わらない。
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・景気はやや悪い状況のまま変わっていない。ランチを中心に売上が増えたが、ディナーが伸びず、新型コロナウイルス感染症発生前の50%に届かない状況にある。都市部や温泉街のホテルでは宿泊客や朝食の利用人数が伸びていたり、観光客の来る居酒屋では来客数が増えているようだが、高級店においては厳しい状況が続いている。また、食材業者からは夕食でワインを提供するような高級店は売上が伸びていないとの話を聞いている。食堂を経営する友人からは役所内の食堂も職員の事情などもあって、来客数が元に戻らないとの話も聞いている。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が拡大しているが、移動制限などが出されていないことから、人出の減少もみられず、景気は変わっていない。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・経済対策である全国旅行支援がいまだに実施されていないことから、旅行需要が大都市圏に偏重しており、道外客が回復してこない。また、海外からの入国に際して1日当たり2万人の受入上限枠が設定され、PCR検査やビザ取得が義務付けられているため、インバウンドが全く戻っていない。これらのことから、非常に景気の悪い状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ここ数か月、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えれば予約が止まり、落ち着けば予約が増えるという状況を繰り返している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が急激な拡大をみせているものの、行動制限がないことから、全体としてはプラスマイナスゼロの状況にある。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増に伴い、旅行のキャンセルが発生しつつある。一方、出発が冬以降の旅行への問合せもみられる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・8月の当社の売上は前年比プラス30%であったが、新型コロナウイルス感染症発生前の2019年比ではマイナス30%であった。行動規制などがないことから、前年と比べれば人の動きがあるが、夜間、特に夜9時以降の繁華街の人出は少なく、タクシー利用も新型コロナウイルス感染症発生前と比べて極端に少ない。また、乗務員について、新規採用がほぼなく、年々減少していることから、タクシーの稼働台数も減っている。乗務員数は新型コロナウイルス感染症発生前の2019年比で20%の減少となっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着いてこないことからキャンセルが発生している。そのため、来客数の変化がほとんどみられない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・道内の新型コロナウイルス新規感染者数が増えているが、今夏の人の流れは前年よりも若干良くなっている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・通信端末やサービスへの需要は比較的持ち直しているものの、付随する電力サービスやカード事業などの受注量が大きく落ち込んでいる。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・この3か月間、売上が前年とほとんど変わらずに推移している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームに来訪する客の多くが分譲マンション価格の高騰を感じていることもあって、購入決定までに掛かる時間が以前よりも短くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響が顕著に表れており、宴会予約のキャンセルなど大きな影響が出ている。また、来街者数に余り変化はみられないものの、消費行動の中心である高齢者の割合が急激に落ち込んでおり、売上の減少につながっている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による来場者数の減少に加えて、様々な原材料価格の高騰による商材の値上がりもあり、販売量の減少傾向がみられる。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスへの行動制限がないことで、お盆商戦後も来客数が引き続き低迷している。また、物価高の影響で買上点数も伸び悩んでおり、直近の売上は厳しい状況で推移している。
		スーパー（従業員）	お客様の様子	・来客数の減少が継続している。新型コロナウイルスの感染状況が悪化していることで、客の来店頻度も低下している。値上げに伴う客単価の上昇、まとめ買いによる買上点数増加といった動きもみられるものの、来客数の減少幅が大きく、景気は悪化している。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・最悪だった前年よりは良いが、お盆以降明らかに客の動きが鈍っている。悪い状況にあっても下見客はちらほらみられるが、購買意欲がないことが大きな問題である。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月の来客数は前年並みであったが、客単価が低下している。月後半は客からの問合せも少なかった。
		自動車備品販売店（店長）	来客数の動き	・商品単価の上昇や客の買い控えがみられることから、景気はやや悪くなっている。
		その他専門店「造花」（店長）	お客様の様子	・行動制限が出されていない状況のため、来客数が大幅に減少することはないものの、客が増加する様子も感じられない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で売上が再び低下している。物価の上昇とあいまって厳しい状況にある。
		その他サービスの動向を把握できる者「フェリー」（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加えて、自社におけるクラスターの発生もあり、減便を余儀なくされている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がこれだけ拡大してくると、客足が元に戻ることはなかなか期待できない。前月よりも景気は悪くなっている。
	x	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年よりはしたが、新規予約者数が減少している。また、新型コロナウイルスへの感染による旅行のキャンセルも増加している。
	x	タクシー運転手	販売量の動き	・当地では新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で新規感染者数が連日のように過去最高を更新している。お盆時期に例年の8割まで回復していた売上も一気に6割まで減少した。
企業 動向 関連 (北海道)	-	-	-	-
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・地震や大雨の影響が一部の土木工事現場で見られたが、大きな支障を来すことなく、全体の出来高が順調に積み上がっている。新型コロナウイルス感染症の第7波にあっても、民間建築の見積り引き合いが増えていることもプラスである。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・トレーラー輸送全体は微増傾向にある。輸入飼料価格が高騰していることでイワシや魚粉などのフィッシュミールの荷動きも旺盛である。飲料関連は関東地区の猛暑の影響もあって堅調であるが、本州向けの生乳は伸びていない。大雨の影響による鉄道貨物輸送障害を受けて、トレーラー輸送に変更する案件も増えている。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・建設投資が順調に伸びており、当社の売上は前年比で7%程度の伸びを示している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えている客先と減っている客先があり、全体量では変わらない状態となっている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・個人消費は人の動きが活発化していることでサービス消費が持ち直している。財の消費は、物価上昇の影響で食料品などの節約志向がみられる一方で、百貨店での高額商材の売上が好調に推移するなど、2極化している。投資は対象により濃淡がみられる。総じてみれば、道内景気は3か月前と比べて変わらない状況にある。
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然として高止まりしているが、行動規制が出されていないため、旅行などの人の往来が増えている。感染がますます拡大するといった影響は懸念されるものの、観光業関連の業種にとっては追い風となっている。一方、物価が日を追うごとに上がっていることで、家計は苦しい状況にあり、景気が良くなっている実感はない。こうした状況では、借金して不動産を買うという発想が出てきづらい。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・不動産売買や建物新築の案件数によって当方の受注量も決まってくる。手頃な新築物件の需要はあっても、物価の上昇や建築資材の不足から供給できる量に限度があるため、全体の受注量が増えてこない状況にあり、景気は余り変わらない。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北海道新幹線の札幌延伸関連工事、再開発などの都市部を中心とした民間建築工事、再生可能エネルギー関連工事などの継続案件がみられる。ただし、需要は一部の地域や都市に限られている。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上は前年と比較すると若干良いが、3か月前と比較すると1割ほどの落ち込みとなっている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・建設設計案件の絶対数が半減している。プロポーザル、入札など、2年前と比べて数が半分となっている。
	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・計画値を少しずつ下回る状況になっているなど、納期遅れや欠品などの影響が大きくなっている。製品の値上げなどもあり、今後の受注量減少なども心配である。	
	x	*	*	*
雇用 関連 (北海道)	-	-	-	-
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・当地域における新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりしていたことから、中心繁華街関連の回復が遅いものの、土木建設及び食品加工業の求人意欲がやや高まっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・国内の観光客の動きが活発で観光地に入が集まっていることで宿泊業、旅客運送業などの求人数が増えている。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているものの、飲食店の求人も堅調である。建設、運輸業も引き続き堅調で、外国人雇用のニーズが高まっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・当地における7月の有効求人倍率は0.94倍であり、3か月前との比較では0.05ポイント上回った。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・2023年新卒者に向けての内定出しなど、企業側の採用活動も順調に終盤を迎えていることから、景気は回復している。ただ、学生目線では、新型コロナウイルスに弱い業界は避けたいとの意思が引き続き強く、新卒予定者の内定承諾状況をみると、業界によっては厳しい現状がみられる。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にある。前月と同様に、営業系の求人数が増えており、管理系の求人も底堅く増加している。8月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えたが、動きが落ち着いてきたと判断されていることで、ホテルやイベント関連からの求人数が3か月前と比べて増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているが、経済は動いている。現状では新型コロナウイルスの影響よりも物価高騰の影響が大きくなっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人広告は前年比120%の申込みとなっている。ただ、飲食、清掃、給食会社が倍増と好調なのに対して、当地の主幹産業である建設業が70%にとどまっていることが気掛かりである。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・7月の新規求職者数が前年から4.6%減少している一方で、新規求人数は前年から1.1%の増加となっている。今後への懸念材料はあるものの、業況が堅調な企業を中心に求人が出されていることから、景気は変わらない。
		-	-	-
	x	職業安定所（職員）	それ以外	・様々な物、サービスの値上がりに賃金の上昇が追い付いていないことから、景気は悪くなっている。これからジリ貧になることが懸念される。

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		* 一般小売店〔書籍〕（経営者）	* 単価の動き	* ・取り扱っている商材は売上ににつながるような動きがあるわけではなく、単価をコントロールすることもできない。大型ショッピングセンターの人の動きが徐々に元に戻ってきており、そこでの単価は上昇している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・県民割のクーポンを使う人の来店が多くなっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・前年に続き新型コロナウイルス感染症関連商品が好調で、今年は抗原検査キットなどが売れ筋になっている。通常の商品も売れており、全体として前年比120%前後になっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・定価品の立ち上がりが早く、月初めから晩夏初秋物が上客を中心に好調だった。中旬は帰省や旅行客にも売れている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・行動制限がないお陰で人の流れが出てきている。特に夜間の動きが良くなっている。また、客単価は前年今年を通じて一番高くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は3年ぶりに大きな祭りが開催された。新型コロナウイルス感染症発生前の3割程度の人出との発表があったが、大いに盛り上がり売上もある程度上がった。反面、その反動が新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続け、店舗を回すのが困難になってきた。これ以上増えると店を閉める他なくなるが、本部がそれを許容するか不安である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数の減少を販売量、単価がカバーし、結果売上増加につながっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・前月末から今月中旬の間は比較的天候が良く、行動制限もなかったため、人の動きが良くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍ではあるが、いい意味で慣れてきて外出を怖がらなくなっている。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波のなか、売上については未達であるが、行動制限がない分来客数は少しずつ増えてきている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・お盆に合わせて仏壇を新しく買い求める客や買換えをする客があり、やや高額な商品を販売したため、売上増加につながっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが、他県からの客が増加している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・7月後半からの新型コロナウイルスの感染拡大により一時的に予約の停滞はあった。しかし、第6波とは異なり停滞期間は限定的で、予約の動きも回復し、取消し数についても限定的であった。
		観光名所（職員）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染状況に関係なく来客数が増えている。団体客も、感染者が出て人数を縮小することはあるが、半年前、3か月前よりも団体数が増えてきて、来客数は多くなっている。また、客単価も非常に良くなっている。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波があり天候も不安定だったが、行動制限がなく屋外施設ということもあり、新型コロナウイルス感染症発生前には及ばないものの比較的順調に推移している。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・官公庁から大型の設計案件が発注され、プレゼンをする機会が増えた。民間では施設の新設や移転などに関する問合せが増えている。物価の上昇や資材不足はあるものの、今後も外的要因が好転することがないと判断し、実行に移す客が増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・自主的な行動制限はあるものの行事は行われるようになったが、消費行動が戻っているようにはみえない。新型コロナウイルスの新規感染者数が多くなって行動制限は出ていないため、大きな変化はない。
		一般小売店 [酒]（経営者）	販売量の動き	・お盆前は帰省客の影響で観光施設や旅館への販売量が良かったが、お盆明け以降は全体的に販売量が落ち込んでいる。特に飲食店は新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し出控えが続くなか、行政からの支援等もない状況で、閉店することを決めた取引先も出てきている。
		一般小売店 [医薬品]（経営者）	お客様の様子	・4月後半から6月まで売上の低迷が続き、7月以降回復している。ただし、新型コロナウイルス感染症に関連する商品の売上比重が高く、一時的なものともみられる。
		百貨店（経営者）	来客数の動き	・7月後半から新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したが、来客数への影響はさほど大きくなく、むしろ久しぶりの行動制限のない祭りやお盆の時期に来街者、帰省客も多くみられた。ただし、一部の高齢者は外出を自粛しており、新型コロナウイルス感染症発生前と比べればまだ大きく減少している。
		百貨店（催事担当）	来客数の動き	・5月以降全体的に持ち直している。今月も新型コロナウイルス感染症の第7波が広まっているものの、夏休みの大型集客催事が奏功し、来客数、売上共に前年比で伸びている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・食品の値上げが続いているが、消費者は値上げに慣れてきた感じもある。販売量は下向き傾向にあったがまた戻りつつある。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・売上前年比は102.7%だが、来客数は99.3%、買上点数は99.6%である。1品単価の微増で売上は確保できている。8月のお盆、帰省の効果で客単価は微増したが、傾向的には良くない状況である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と余り変わっていない。人の流れが少しずつ通常に戻りつつある点は良いが、新型コロナウイルスの新規感染者数が多すぎて、それを気にしない人と気にして控えている人が半々くらいになっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夕夜間の来客数が少し戻ってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は立地場所が大きく影響している。観光地を含め、天候不順や新型コロナウイルス感染症の影響を受けている場所では来客数が少なくなっている。影響を受けていない場所では景気の回復がみられる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・夏季商戦については、気温の上昇や祭りの例年どおりの実施もあって好調に推移したが、天候不順、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加もあり、この先良くなるとはっきりとはいえない状態である。今後エネルギー価格の上昇による値上げラッシュがどのように響いてくるのかという不安もある。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・インフレが進み2～3か月になるが、一般消費者が値上げに慣れ始め、普通に買物をするような雰囲気が出てきている。単純には判断できないが、そう悪い雰囲気ではない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・祭り関連用品の売上で予算が達成できそうだが、お中元は産直品が多く低利益のため、粗利益は未達であった。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・8月に入り新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているため、帰省する人が予想以上に少なく、本来この時期に売上の多くを占める家族連れの客がみられなかった。新型コロナウイルス感染症が足を引っ張っている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・冠婚葬祭需要が増えたことで、フォーマルが好調に推移している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・法人客の受注は伸びているが、個人客はなかなか伸びていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車も発表され、来客数、受注量も微増している。しかし、依然として納期は長期化しており、登録予定がみえず、現在の収益の押し上げにはならない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は特に変動がないため、変わらない。
		その他専門店 [酒]（経営者）	来客数の動き	・お盆休みの帰省シーズンではあるが、地元で新型コロナウイルスの感染が拡大した上に豪雨等も重なり、店頭販売、飲食店共に期待したような売上にはなっていない。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・燃料油の販売価格は補助金の適用により大きな変動はないが、従来よりも高値で推移しているため前年同期を超えない状況である。新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなったことにより、前半は移動需要が増えたものの、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加とともに販売量は減少傾向になっている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・夏休みからお盆にかけて人の流れは結構出てきているものの、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、客の消費行動に直接結び付いてはいないようである。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・県民割が使われているが、新型コロナウイルスの感染状況の影響を受けて、来客数は増減を繰り返している。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているため、期待している全国旅行支援の開始が延期され続けている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数も多くキャンセルなども多かったが、結果として大きくは変わらなかった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・行動制限がないため他県からの客も含めて人の動きが随分と良くなっており、我々の仕事にも良い影響が出ている。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきているため心配な面もある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・規模の大小にかかわらず、祭りやマルシェ、イベント、コンサート、集会等が開催されるとタクシー利用が活発になり、4月以降、売上が増加傾向にある。県外からのタクシー利用者は、全国どこでも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、どの県やどの地域が危ないといったことは考えていないと話すが多い。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
		競艇場（職員）	単価の動き	・利用者数に余り変化はみられず、客単価もほとんど変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	来客数の動き	・前年比92～93%がこのところ続いている。新規客も増えてこない状況である。何が原因か分からないが、客の回転が良くない状況が続いている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・6月頃は明るい雰囲気でも経済回復の兆しが顕著であったが、政治家と宗教団体の問題、集中豪雨、新型コロナウイルス感染症の第7波と、我慢することのみが多い社会風潮となっている。当然ながら客の出足や購買意欲の縮小がみられる。
		住宅販売会社（経営者）	それ以外	・工期未定を防ぐため、工場生産可能な工法に変更して受注を始めている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器は、コンロと給湯器の交換工事が増えている。リフォームは、納品が遅れていた資材、商品が入荷したことにより、増改築工事が増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・夏祭りは予定どおり開催され、新型コロナウイルス感染症発生前のにぎわいが戻りつつあった。しかし、県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が連日千人を超え、高齢者を中心に外出や旅行、夜の飲食を控える傾向がみられ、景気はやや悪くなっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・8月は3年ぶりの花火大会や夏祭りが続き、非常に多くの人出があった。お盆の頃になると、熱が出た、のどが痛いといった症状を訴える人が非常に多く来店し、新型コロナウイルスの抗原検査キットがあつという間に売れてしまった。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・8月は平均1品単価が前年比で4%近く増加した。しかし、前月同様、来客数と買上点数の前年比はそれ以上に減少している。8月は来客数の多い日曜日が1日少ないことに加え、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に対する警戒感から来客数の減少が続いている。また、価格転嫁が進み、額面収入は変わらず支出だけが増え、実質的に可処分所得が目減りしているため、消費は悪くなっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・8月に入り2～3か月前と比較して来客数の減少が続いている。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・天候不順、新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加で、お盆期間の客の流れ、行動が例年と異なっており、計画とのかい離が大きく発生している。お盆が明けても値上げが続き、節約志向が高まっている。必要性の高い、低単価の保存用の需要が高まり、生鮮食料品では基礎商品の価格競争が始まりつつある。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・物価上昇が購入意欲の低下に影響しているような感じがある。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により来客数は減少している。特に土日の来客数が厳しい状況である。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・お盆明けの残暑や長雨、インフレによる物価高、新型コロナウイルスの感染拡大と気分が前向きにならない要素が多く、客の購入モチベーションが上がり切れていない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・レジ件数が落ち込んでいる。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・エアコンを始めとする高額商品の販売量が前月くらいから極端に下がり始めている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が収束せず、在庫予定の客のキャンセルや商談予定のキャンセルも相次いでおり、売上が見通せない状況である。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・長納期の影響で新車部門の売上は前年比80%をキープするのがやっとの状況である。中古車部門も在庫を確保しづらい状況が継続中で、前年比70%台とかなり苦戦している。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・8月は豪雨が多発し、堤防決壊による浸水被害、道路の損壊が近隣地区で多数発生し農作物の被害も多く出ている。復旧していない鉄道路線もあり、通勤通学に負荷が掛かっている。本来消費に回る部分が削られるとみている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産をしている。受注量が減少しており、販売量も減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [白衣・ユニ フォーム] (経営者)	販売量の動き	・3年ぶりの行動制限のないお盆だったが、人流は思ったほどではなかった。売上は多少はアップしたが、起爆剤となり得るほどの威力はなかった。観光業、飲食店等も少し忙しいといった程度とみられる。それでも今までの客の数から見れば有り難いことである。制服にまで金が回るのはまだ先のことだが、それでもほんの少し明るい兆しがみえ始めている。
		その他専門店 [食品] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症第7波の影響で、県外からの来客数が激減している。前年よりはプラスだが、新型コロナウイルス感染症発生前からは4割減少している。加えて、物価高でぜいたく品の購買意欲がそがれている。
		高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数がなかなか減らないため、動きがない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数がかかり落ちている。新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、宴会などのキャンセルがかかり増え、予約も入らない状況が続いている。景気はかなり悪くなっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波が来て以来、予約はキャンセルされ、新規の予約は全く入らなくなり、相当ひどい状況になっている。今月初めくらいからひどくなり、この先良くなる見込みもないのではないかと不安になっている。
		通信会社 (経営者)	お客様の様子	・8月に入り3年ぶりの夏祭りが各地で行われ、この勢いで地方経済も回り始めるかという期待感もあった。しかし、新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最高を更新するばかりで、娯楽ビジネスでもある有料テレビやインターネットの新規加入者は減少している。ただし、解約者が少ないことで純減まで至っていないのが救いである。
		通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・物価高やインフレの進行が景気を圧迫している。消費行動が冷え込んでいるという声を多く聞く。先行き不安のため節約傾向も目立っている。観光産業においても新型コロナウイルスの感染拡大で宿泊施設のキャンセルが目立ち、厳しい状況にある。
		通信会社 (営業担当)	単価の動き	・各種物資の値上げが相次いでおり、消費者にはかなりの痛手となっている。
		通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・中小企業の設備面での投資熱は冷めている。大企業及び首都圏との温度差は広がる傾向にある。
		通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・物価が上がってきているため、商品が売れにくくなっている。
		その他住宅 [住宅展示場運営会社] (従業員)	来客数の動き	・来場者数が前年比80%で推移しており、新規来場者数も減少している。
	×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が拡大している影響で、8月は客足が完全に止まっている。
	×	スーパー (経営者)	お客様の様子	・メーカーや卸の値上げが相次ぎ、販売価格の値上げをせざるを得ない状況だが、その値上げに消費者がついてきていない状況である。
	×	スーパー (店長)	販売量の動き	・お盆前までは前年の売上を確保していたが、お盆期間に売上が低迷し、以降、売上を落とし続けている。
	×	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・来客数は前年比85%である。買換え需要については前年並みである。買換え需要を除いては、テレビ、冷蔵庫、洗濯機といった高額商品の販売量が減っている。
	×	その他専門店 [靴] (従業員)	販売量の動き	・夏祭り、お盆が原因とみられる新型コロナウイルスの新規感染者数の激増により、前月に引き続き来客数が大幅に減少している。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの頃は客が大分戻ってきた感じがあったが、それ以降じわじわと来客数が減少している。特にディナータイムは客がほとんどいない状況が続いている。かなりブレーキが掛かっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は幾分減少傾向にあるが、3か月前と比べて5倍の数である。前月末から、仕事で外出しても夜の繁華街には寄り付かない状態が顕著になっている。背景には、会社で止められているとか、田舎なので多世帯同居の世帯が多いことがあるとみられる。また、学校も始まったので、子供の感染にも敏感になっている。行動制限はないものの、繁華街での商売には逆風が吹いており、回復のめどが立たない。
	x	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・3か月前の数字から7%落ちている。また、前年同月比でも77%と前年より悪くなっている。
企業 動向 関連 (東北)		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・夏祭り、お盆帰省、夏休みによる来客数が増加し、売上増加に直結している。しかし、スタッフの確保に苦慮している。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・JAから7月販売のものも精算書が届き、前年より2割程度高かった。また、注文数も前年と同様であった。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏祭りやお盆の帰省も人の動きが良かったため、土産商品がよく動いた。新型コロナウイルス感染症発生前までは売上は回復していないが、ホッと一息といったところである。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が堅調である。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・規模を抑えながらも県内各地で夏祭りが開催された。天候に影響されることはなく、例年ほどではないにしろ経済浮揚効果を発揮している。食料品やガソリン価格も落ち着いており、新型コロナウイルスの感染拡大も経済活動自体への影響は僅かである。
		その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）	受注量や販売量の動き	・天候が良かったこともあるが、行動制限がなくなったことにより安心して商品の買い出しに出るなど人の流れが非常に良くなったため、景気が良くなっている。
		その他企業 [企画業]（経営者）	それ以外	・7～8月にかけての新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、温泉街への人出の影響を懸念していたが、むしろ予約キャンセル客の再予約などがあり、また日帰り客もある程度確保できた。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比で約10%ダウンしており、とても苦戦している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波により、勢いが止まってしまった。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・景気が良くなっている感じはあるが、受注状況は横ばいである。見積件数は比較的増えてきている。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・大雨の影響で修繕の仕事が多くなっている。しかし、単価が低いので収益的には伸びていない。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・一定の工事受注は得られており、状況は変わっていない。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～8月の売上は前年より増加しているにもかかわらず、一向に景況感が良くならない。その原因はウクライナ情勢の影響と新型コロナウイルスの感染拡大とみている。先が見通せないため不安だけが増大していく。これでは消費も設備投資も伸びず、その結果として物量も増えない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・コロナ禍が長期化している影響で、思ったような成果があげられない状況である。
	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・大型夏祭りは新型コロナウイルス感染症発生前の人出に戻り、一時的には消費拡大となったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりの状態では継続的に活発な販促活動が展開できず、広告業界は依然として低迷している。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・観光関連に若干の復調の兆しがあるものの、食品、自動車等の取引先では先行きの不透明感による発注控えなども散見される。	
	経営コンサルタント	それ以外	・ウイズコロナの生活に慣れ始めている印象を受ける。いわゆる新常態に向けた業態開発で対応できているかが成否を分けている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス業は売上、利益等改善傾向がみられるが、飲食関係は新型コロナウイルスの新規感染者数高止まりの影響か、業績の悪い客が多い。建設関係は売上、利益共に確保している企業が多い。全体としては緩やかに景気回復しているとみられる。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・燃料価格の高騰が続いている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が過去最悪の状況にあるものの、行動制限は出されておらず、経済活動の自粛もみられない。しかし、先行き見通しを懸念してか、慎重な取組の企業が多々あり、受注量の減少に歯止めが掛からない。
		窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・官需、民需共に低調で、出荷量は前年比85%程度で推移している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体部品不足による生産調整が入り、受注量の減少がみられる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・スマートフォン等の需要減退に伴う対応を示唆されている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先からの引き合いが減っており、受注、売上共に減少している。半導体事業の状況は、受注増加の予定が現状数維持に変化したため、伸びの期待は薄くなっている。
		コピーサービス業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・毎月数社程度だが価格変更の通知がきており、値上がりした分、価格転嫁をすべく活動をしている。メーカーや卸会社は一方的な通知でよいが、取引先全てに転嫁できるか不安である。全体的に理解が進んでいると思うが確信が持てない。
	x	その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、人の移動が抑制されている。
雇用 関連		*	*	*
(東北)		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数の登録も順調に推移している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が前年を上回り、2けたの伸びとなっている。
		新聞社[求人広告]（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症は続くものの、政府や県、市レベルでも経済を動かすことに重点を置いているため、これまで中止に追い込まれることが多かった多くのイベントが3年ぶりに開催されるなど、徐々に回復に向けた動きが出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べると雇用調整助成金の利用事業所数が減少しており、求人数は前年同月比で十数か月連続で増加している状況にある。しかし、燃料・資材価格の上昇分を売価に転嫁し切れず利益率が減少しているという事業所の声が多く、新規求人数の勢いも若干落ち着いてきた様子がある。
		学校[専門学校]	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高止まっているが、特に行動制限が掛けられていないため、各種イベント等は感染症対策を講じ、規模縮小ながら実施できている。
		人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・3か月前は新型コロナウイルス感染症の影響で自粛ムードによる買い控えや、街に人が出なくなるなどしたため、小売業や飲食業が厳しい状況であった。今月は従業員が新型コロナウイルスに感染し仕事に出て来られなくなったため、業務がひっ迫したり、新しい製作活動ができなくなったりしたことで店休する企業が出てきている。3か月前とは内容は違うが、景気が悪い状況が継続している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数については横ばいの状況である。
		アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・ここに来て会議自体が減っているようである。
		新聞社[求人広告]（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が連日最多を更新する状況で、目に見えて景気が上向いているような感じはない。しかし、新型コロナウイルス感染症は第5類的な感覚で市民に浸透している。飲食店は上向きの肌感覚がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・人手不足による企業の採用意欲は高く、定着のため従業員の処遇改善を図る動きもある。この傾向はここ数年間継続している。
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、依然、広告の売上回復の実感はない。
		職業安定所(職員)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染急拡大や8月の天候不順といった要素もあるが、何よりも物価上昇の影響が大きく、消費・購買意欲が落ちてきている。
	x	-	-	-

3. 北関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北関東)		* 家電量販店(店員)	* 販売量の動き	* ・7~8月にかけての伸びは前年の前月比より3ポイントほど高くなっている。前年比98%と前月より4ポイント高く、徐々に景気回復を感じられるが、前年超えはなかなか厳しい。好調な商材は、冷蔵庫とスマートフォンである。
		乗用車販売店(販売担当)	お客様の様子	・3か月前と比べて、今月の方が断然良く、ホテル関係の来客数もものすごい状態である。当地は観光地なので、土日以外でも観光客が結構来ていて、ホテル、ドライブイン関係等は少し良くなってきたという話を聞いている。新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、また勢いがしぼんでしまっているが、3か月前よりは良い。
		旅行代理店(所長)	来客数の動き	・今月に入り、県民割等の効果もあり、個人旅行もおおむね順調に推移している。通常、お盆明けには落ち着いてしまう個人の動きも、落ち込むこともなく推移している。また、お盆前後の教育旅行も堅調である。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症と向き合っていく傾向が加速している。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・コロナ禍が続いているものの、行動制限がない分、来客数の動きは改善傾向で、景気も良くなってきている。ただし、物価上昇のため、販売数は思ったほどの伸びはない。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているものの、来園者数は前年よりも大幅に増加している。
		一般小売店〔精肉〕(経営者)	お客様の様子	・今月前半は新型コロナウイルスの新規感染者数が減った状態が続いていたので、皆、気が緩んだのか、行事に出席したり、観光や旅行に出掛ける人が多くなり、少し活気が出たような気がしていた。その後、当地も他県と同じように新規感染者数が増えてしまい、外出を控える人が多くなり、人の動きは悪くなっている。
		一般小売店〔土産〕(経営者)	販売量の動き	・3か月前と比べて販売量は変わらない。ただし、新型コロナウイルス感染症の発生前と比べると、6割弱の売上にとどまっている。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に対する行動制限はないものの、新規感染者数は高水準で推移していることから、高齢者を中心に、外出自粛の動きが見られる。
		スーパー(総務担当)	来客数の動き	・行動規制のない夏休みだったので、上向きと思えたが、新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高止まりで、来客数はそれほど伸長していない。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・今月は前年と違って、新型コロナウイルスによる行動制限がなかったため、観光客や県外客が多く見られる。
		家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・特に、夏物商材の動きが悪く、前年比70%と苦戦のまま終了している。海外からの部材等入荷が悪いため、仕事が大幅に遅れている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・相変わらず、新車販売は低調なまま、納車まで早くても3か月~1年掛かっている。そのため、整備部門の売上等でしのいでいる状況である。
		その他専門店〔靴小売業〕(経営者)	来客数の動き	・一点、改善されつつあるのがメーカーの秋物商材入荷の見通しが少し明るくなってきたことである。いまだに生産が上向かない物が多い。また、新型コロナウイルスの新規感染者数が依然として減らないため、メインターゲットである中高年齢の客の動きが悪い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・来客数に波はあるが、客が戻りつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響は減ってきている。物価高により利益率が下がっており、値上げは必須の状況になってきている。常連客の来店頻度が落ちてきており、客に聞くと、物価高の家計への影響があるようである。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・他店を回る取引業者が口々に、「どれも皆、良くない」と言っている。値上げと新型コロナウイルス感染症でかなりの打撃が続いているようである。
		観光型ホテル（経営者）	それ以外	・8月はオンシーズンで、今年の夏は行動制限がなかったことで、客の動きはかなりある。もろもろの条件はあるにせよ、新型コロナウイルス感染症の発生前の2019年比で、80%は越していない。先日、某OTAとの勉強会にて、過去最高の数字を出したと明示されたが、地域の現状とはかけ離れている。リアルエージェントと団体、インバウンド客が非常に少なくなり、国内個人客のみ動いていることの現れである。今年～来年にかけては、観光宿泊業の数字の差異が多く見られると思うので、一方の数字だけではなく、より多角的に数字を分析しなくてはいけない。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によって回復のスピードはやや鈍化したのが、確実に売上は伸びている。7月などは新型コロナウイルス感染症の発生前をも上回る売上を記録していた。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きは良かったが、夜の動きが良くなかったのが、新型コロナウイルス感染症の発生前の同月と比べて、横ばいである。
		通信会社（社員）	単価の動き	・海外の異常な物価高に比べれば、日本はまだ抑えている感じを受ける。今後は物価も含めた経済の動きに注目していきたい。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・相変わらず、半導体不足による機器の納期が不安定であることや物価高騰等の要因から、販売は伸び悩んでいる。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、来場者数が低調ながらも横ばい状態が続いている。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・物価上昇と新型コロナウイルスの感染拡大で、客の消費にブレーキが掛かっている。購買意欲につながる手段を講じているが効果はない。安心安全につながることを説明しても最小限でと望む客が増えている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・建設関係はやや動きがあるものの、飲食や旅行関連は新型コロナウイルスの新規感染者数急増により、懇親会や旅行の自粛が増え、落ち込んでいる様子である。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波もあり、景気の回復が見込めない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・当社は外国人労働者向け住居のニーズが急増していたものの、落ち着いてきている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・引き合いはちらほら出てきたが、皆、検討時間が長く、なかなか成約には結び付かない。貸店舗についても、店舗を開業するかどうか、新型コロナウイルス感染症の影響で再び営業がストップになるのではないかと心配しているのか、動きが悪い。
		その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（営業）	お客様の様子	・台風の季節を迎えるが、屋根や外壁の問合せがやや少ないと感じている。原材料高については周知の事実となっているようで、いまだ様子見の感じがする。
		一般小売店 [青果]（店長）	来客数の動き	・取引先の料理屋等では、日中の時間帯はほどほど客が入るが、夜はこれだけ新型コロナウイルスの新規感染者数が出ているために、ほぼ来店がなく、客が激減しているとのことである。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりが地方都市でも顕著で、来客数に影響が出ている。
		スーパー（商品部担当）	単価の動き	・1品単価の上昇は値上げによるもので、客単価や買上点数の上昇は見込めない。生活必需品を筆頭に、値上げ傾向が落ち着かないため、やや悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で、売上は98%、来客数92%、客単価105%で推移している。朝と夜の時間帯の来客数が大きく減少している。店舗前の工場の休みとリモート勤務の影響が大きい。5～6月と売上が前年を上回ったが、7月後半から8月にかけての新型コロナウイルスの感染第7波の影響により、8月は前年比98%となっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車両の納期遅延が続いている。受注も減少しているため、販売量も減少している。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症のせい、来客数が少ない。周辺道路をみても、動いている人が少ないように感じている。旅行に行くメリットが全く分からず、Go To Travelキャンペーンのシステムも分からないので、良いことが何も伝わってこない。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの特需が終息し、来客数が前年割れしている。3年前の新型コロナウイルス感染症の発生前の水準に戻っている。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が多く、身近なところでも感染者が出ているため、予約のキャンセルがかなり多くなってきている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・当社主力の事業所給食部門、特に、社員食堂では、改めて在宅勤務を増やす動きが出てきたことに伴って、提供食数が減少する取引先も見られるようになってきている。また、新型コロナウイルス感染症対応で突発的に食数が減少して食材ロスが発生することもあり、食材費の上昇と併せて、収支を悪化させる要因となっている。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・無理をして利益を削り、廉価商材を作り出して、何とか販売数を維持している。
		ゴルフ練習場（経営者）	単価の動き	・商材の仕入単価が、発注するたびに上がっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・円安誘導政策は、国内の資産価値を相対的に下落させることとなり、欧米先進国に比べて資産貧乏になる。先進国と威張ってられるのも今のうちかもしれない。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で、景気は停滞している。祭礼等のイベント効果から景況感は一時的に上向いたものの、その後の新規感染者数増加で、街歩きをする人が激減し、来店客も少なくなってきている。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・物価高が響いて、客の財布のひもが固くなっているようである。
	×	百貨店（店長）	来客数の動き	・前年8月は当県も緊急事態宣言期間中で来客数が激減していたので、本来であれば今年は大幅な来客数、売上増になると思われたが、新型コロナウイルスの感染拡大により想定していたレベルには至っていない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増加してしまったので、どうにもならないくらい客が出てこない。当店の顧客が高齢者ということもあり、自己防衛に走って、街に出てこない。売上は毎日本当にゼロ行進が続いており、どうしたらよいか分からないほど大変である。
	×	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・8月に入り、来客数の低下が顕著である。行動制限のない夏で、観光地等への客足は戻っているようだが、ほぼ全商品群に渡る商材価格の値上げで、レジャーに関する消費が伸びることは、生活関連品に対する節約志向が強くなるということなので、来客数の低下として表れている。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりでの推移が続いているため、特に、高齢の常連客の足が遠のいている。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波や新型コロナウイルスオミクロン株の別系統など、もう限界である。
	×	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊部門は順調な稼働を継続しているが、料飲部門では新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、会合等の延期やキャンセルが相次いでいる。
	×	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響が出ている。3か月前は稼働が回復してきた矢先だったが、第7波に見舞われて、やや悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が日々過去最高を更新していて、行動制限がなくても、飲酒等をしている人がいない。電車に乗っている人も少ない。若い乗務員が少ないなか、タクシーの給料では生活ができないと、当社以外でも退職者が目立つようになっている。午前中は多少動きがあっても、午後から夜や深夜は仕事にならない。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		金属製品製造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・取引先からの受注予定数量が増加しており、やや良くなっている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・当社の主な取引先は15社ほどあるが、仕事の特殊性もあり、毎月受注があるわけではない。8月は全社から注文依頼があったので、景気は上向きかと思われる。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・何か取引先があるが、どこの会社も9月以降は少し多めの注文をもらっているの、やや良くなっている。
		輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・生産は回復しているものの、人員不足が否めない。
		司法書士	受注量や販売量 の動き	・悪い流れがちょっと止まったような感じがしている。
		窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・酷暑に対応しながら、製造に励んでいる。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量がなかなか増えず、少ない。売上が増えると良いと願っている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・今月も、自動車の組立ライン稼働停止が続いており、地元自動車部品サプライヤーの多くで、今月の休業日数を増やしている。当社も今月は金曜日を稼働停止にしている。
		輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・今月も猛暑となり、エアコン、扇風機等の夏物家電は前年並みの物量を確保している。しかし、燃料コストの高止まりやドライバー不足による車両確保費用が高くなり、利益は薄くなっている。
		経営コンサル タ	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増え始めているが、買物や行楽への人出をみると、心理的に行動自粛要因となっている様子は多くなく、警戒ムードはさほど広がっていない。経済活動は意外と堅調であり、消費者の買物行動も普通になってきている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・業績の回復は業種によってまちまちだが、この夏の消費は思っていたほどは盛り上がらない。
		その他サービ ス[情報サー ビス](経営者)	受注量や販売量 の動き	・システムの商談件数や納入件数は増加傾向にあるが、特段の変化はみられない。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年比で、売上、来客数共に減少している。
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	取引先の様子	・この1～2か月は、取引先、競争相手等の様子も、若干落ちている。9月は多少取り戻せると思っている。
		広告代理店(営 業担当)	取引先の様子	・材料費の高騰により収益が圧迫されているようで、宣伝広告予算は削られる一方である。
	x	建設業(開発担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後から現政権まで、公共工事は順調に推移している。元首相銃撃事件は大変ショックであり、国葬に対する賛否両論はあるが、警護がしっかりしていれば、防げたと思うと本当に残念でならない。今期の公共工事発注額は前年比23%減と厳しく、当社受注も前期比10%減で、厳しい決算になると思われる。
雇用 関連 (北関東)		-	-	-
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・白物家電や一般家電等の冷房商材と衣料品は買い増しがあったようである。住宅関連では、外壁、屋根等の修繕、塗装関係で活発な動きが見受けられる。生鮮食料品等の購買は、価格が若干高めながらも、人の動きが増えたせいもあるかもしれないが、良かったようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・サービス業、製造業を中心に、派遣依頼数は増えているが、正社員としての転職活動も並行して進めている方が多く、紹介できる派遣スタッフの不足が続いている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・派遣求人数に変化はない。短期派遣の状況も落ち着いている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数も増えているが、求職者数も増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月と比べて、新規求人数は建設業、飲食サービス、宿泊業、卸、小売業等で減少しているものの、全数ではここ3か月は同水準で推移している。前年同月比では15.9%増加と、10か月連続の増加である。
		学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の収束がまだみえないなかで、少しずつ経済活動は前向きに動いているように感じている。しかし、世界情勢や電力不足等により物価が高騰しており、今後の消費行動は控えられるのではないかと。
		*	*	*
	x	-	-	-

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症がまん延している環境下でも、前年同期比185%で推移している（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	来客数の動き	・3か月前よりは確かに売上が増えている。今月に入っても例年よりエアコンの問合せが多い。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・若干ではあるが、イベントや行事が復活し、個人客が増えている。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・相次ぐ値上げや、新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で、夏休み期間中も来客数は前年並みの慎重さだが、来店客の購買意欲については、買い回りが多く、買上点数も増えており、客単価が上がっている（東京都）。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりは続いているが、行動制限がないため、客は店舗へ足を運んでくれる。引き続き、ブランド価値の高い商材を中心に、ファッション関連商材の動きが良い。反面、巣籠り需要といわれたインターネット経由での動きはやや鈍くなっている。過去の水準との比較が難しく、何をもちって景気が良いのか悪いのか、判断に迷う状態である（東京都）。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・家族連れや3世代来店者など来客数は増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響は感じられない。コストアップによる価格上昇が客単価に大きく影響している。また、インポート商材は値上げ前の駆け込み需要とその反動減を受け、不安定な状況にある（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・来客数は増加しているものの、客単価は低下傾向である。結婚式などのセレモニーが復活し、ブライダル需要も伸長している。既に来春の卒業式、謝恩会準備の相談も入り始めている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・来客数に回復の兆しは見えないが、高額品が好調である（東京都）。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のプール施設が、人数制限はあるものの3年ぶりにオープンした影響で、前年比120%で推移している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・8月中は気温が高く、行動制限もないため、前年、前々年と比較しても、売上状況が良い（東京都）。
	コンビニ（従業員）	来客数の動き	・前月にも回答したが、8月は夏休みということもあり、ふだんよりも来客数が多いため、3か月前と比べると少し来客数が多く、やや良い。一時期は、数か月間時短営業していたこともあり、現在は24時間営業に戻っているが、来客数だけを見ればもちろん長く店を開けている方が客は多くなる。そのようなイレギュラーを除くと、春休み、夏休み、冬休みなどは少し景気が良くなる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・8月に入り、新型コロナウイルスの感染第7波に対する行動制限なしの対応で、我々のセクター的には、前年同期を上回る数値で推移している。カテゴリーでは、カメラ類等の動きが良く、好調を維持するとみている。ロシアのウクライナ侵攻の直接的な影響は受けていない（東京都）。
		家電量販店（従業員）	単価の動き	・気候の影響もあると思うが、今年の夏は来客数が伸びなかった。道路は混んでいたため、行楽での外出は多かったようである。職種により差のある夏であった。少しずつだが景気は良くなっている。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・半導体不足の問題はあるものの、受注が順調に伸びている。また、損益面については、中古車市況及びサービスの踏ん張りにより、前年よりも上向いている。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波が始まり、抗原検査キットの販売伸長のお陰で、売上が回復している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（団体役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の渦中ではあるものの、夏期休暇中の移動の影響が前年に比べて減少しており、3か月前比、前年度比でも売上が増加している（東京都）。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・8月の夏休みで遠出する方々がいる。当店は都心に立地しているため、季節的要因と同様に法人需要が減っている。新型コロナウイルスの感染拡大を抑えられていないなかでも、慣れもあるかと思うが消費者の行動は控えられる傾向にはなく、若干好転の兆しを感じる（東京都）。
		その他飲食 [カフェ]（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に飲食を控える傾向があったが、最悪の状況は防げているように感じる。皆それぞれが新型コロナウイルス感染症に対する意識を持ち、予防や防護をしており、飲食の際にも注意して食事をしている様子が見受けられる（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高い水準で推移しているが、頭打ちの感もあり、大きな需要低下とはなっていない。イベントも中止にはならず、県民割の需要は依然として高い。見込みよりは来客を得られている。
		旅行代理店（販売促進担当）	販売量の動き	・夏休みのため、個人旅行が順調に入ってきている。ただし、東京では県民割がないので、その分のプラスはない。この時期は団体旅行などが実質ないので、個人に特化するとこのような回答になる（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・以前同様、朝から夕方までは無線が多くなり、仕事ができています。午前は病院の送迎と駅までの送り、午後は会社へのお迎えで、つながりが良い。夜は飲食店からのオーダーが今一つ少なく、新型コロナウイルス感染症の影響が続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・猛暑による売上の増加は落ち着いてきたが、残暑のお陰ということもあり、やや良い（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	販売量の動き	・業務案件の増加と受注が少しずつ上向きになってきている。ただし、終了の業務案件もあり、相殺の可能性もある（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・3か月前に比べて、本当に若干だが客が動き出したように感じる。新築売りアパートの問合せが増えてきている。金融機関の状況がまだ不明だが、動きが感じられる。
		一般小売店 [家電]（経理担当）	販売量の動き	・今月は予定していた大規模工事があったので、8月の売上としては良かった。ただし、家電製品の売上となると厳しい。冷蔵庫は高額商材が結構動いたが、エアコンは猛暑にもかかわらず静かである。販売会社によると、他店でもそのようである。
		一般小売店 [文房具]（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比較して来客数にはさほど変わらないが、本来であればイベントが実施され、来客数ももっと増加するはずであった（東京都）。
		一般小売店 [生花]（店員）	販売量の動き	・8月はもともと客が少なくなる時期なのだが、それにしてもこの暑さと新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。8月のお盆も期待したほど売上は伸びず、多少は良かったというくらいである（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔文具〕(販売企画担当)	お客様の様子	・店頭においては来客数も減っており、さほど悪くはないが、良いということでもない。暑い日はやはり来客数が減るが、その分涼しくなってくるとそれなりに買ってくれている。外商の方は、閑散期ということもあり、物件がある程度落ち着いている。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	来客数の動き	・来客数、売上共に減少している。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・まだ新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、人の動きも戻っていない。販売量は何とか現状を維持するので精一杯である。新規の客もなかなか増えず、しばらくは辛抱が続く。早く人が自由に動けるようになることを期待している(東京都)。
		一般小売店〔書店〕(営業担当)	販売量の動き	・円安で購入量が抑えられていることに加え、夏季の閑散期に入ったこともあり、受注量が抑えられている(東京都)。
		百貨店(総務担当)	お客様の様子	・チラシ媒体、イベントスペース強化等で、来客数は前年を大きく上回り、売上についても上積みはできたが、目標としていた数値は下回っている。食品部門は、催事を中心に堅調に推移しているものの、衣料品、高額な宝飾品等の動きが鈍く、苦戦している。
		百貨店(総務担当)	単価の動き	・宝飾品やブランドなど高額品の売上が好調に推移している(東京都)。
		百貨店(広報担当)	お客様の様子	・高付加価値な物を求めるニーズ自体は底堅いが、春先から大きく伸びているというより、好調を維持しているという状態に近い。大きなオケージョンや人と会う機会に合わせて消費のアップダウンがあるようである。一方で、物価高を受けて中間層の動きは慎重であり、一般的な消費ニーズは低調のまま大きな増減はない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・2021年の同時期と比較して伸長している傾向は続いているが、依然として新型コロナウイルス感染症の発生前の水準には戻っていない(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波が続いているものの、行動制限のない夏休みを迎え、来客数が落ちることなく店頭のにぎわいが続いている(東京都)。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・行動制限のない夏となり、来客数は順調に伸びているが、売上面においては同様の伸びがみられない。販売点数が減り、値上げによる商品単価のアップで何とか売上を維持している。
		スーパー(販売担当)	お客様の様子	・客の様子を見ていると、広告初日の安価な商材やタイムサービス、ポイント何倍といった時間帯や店をうまく使い分け、同じ物なら少しでも安く買おうと買い回る動きが多く見受けられる(東京都)。
		スーパー(経営者)	来客数の動き	・基本的にはやや悪い方向なのだが、天候がそれほど悪くなかったので、その分7月よりも多少良かったという感じがしている。どちらともいえないと答えたが、基調としてはやや悪い方向がずっと続いており、変わらない。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が前年を下回っているなか、それに輪を掛けるように客の平均買上点数も前年比で少なくなり、96%くらいで推移している。来客数及び買上点数の減少が一番の要因である(東京都)。
		スーパー(店長)	それ以外	・値下げ商材の意識的な購入が従来と比較して増えてきている。今までは賞味期限切れ等による廃棄も多少はあったが、廃棄額の減少と値引額の増大が傾向として見えている。
		スーパー(営業担当)	販売量の動き	・1品当たりの単価は若干上がっているものの、買上単価はトータルで落ち込んでいる。販売量の落ち込みが大きな要因である(東京都)。
		スーパー(販売担当)	来客数の動き	・依然として、継続的な物価の上昇やエネルギー価格の高値安定に加え、新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりと、マイナス要因ばかりで、景気回復には程遠い。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・例年、夏休みの最後の土日などは商材の動きがあるのだが、朝少し動いただけで、その後は動かなくなっている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・販売量は前年度を上回っているが、客単価は変わっていないため、状況の変化はみられない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・一向に新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、客の動向も不安定である（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・来客数はクリアできているものの、売上は微減している。客は慎重になっており、必要な物しか購入しない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・イベント等に左右されやすいドレス事業を中心に好調を維持している。また、EC売上についても、季節商材を中心に順調に売上を確保できている（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症対策の行動制限がなくなり、前年の行動制限時における来客数ダウンに比べると回復している。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・3か月前と比べても必需品に動きがある。気温が高めに推移しており、季節商材を中心に消費行動がある（東京都）。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・コロナ禍による消費意欲の低下は依然として大きい。旅行、飲食の回復と比べて高額し好品が多い家電業界は厳しいという肌感覚である（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。前年度に比べて5割減少している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の納期が以前よりも長く掛かることが常態化してきて、受注と登録台数が前年並みになってきている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費意欲のパターンが増えている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・点検、修理の客は来店するものの、販売に関しては来客数が減っている。
		乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・景気についてはどちらともいえない、変わらないと判断した。やはり長引くコロナ禍の影響と、ロシアのウクライナ侵攻の影響による物価高及び原油高、燃料価格などの高騰で、購買意欲がありそうでないというのが現状である。客が新車購入をちゅうちょすることや、納期が非常に長く掛かるため、また車検を受けるということもあるようである（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・半導体不足の影響がいまだに残っており、新車を供給できない（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・来客数に変化がない。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・たまたまとまった注文が入ったので、そのときだけ少し販売量の動きがあった。
		その他専門店 [貴金属]（統括）	販売量の動き	・原価の高騰による価格改定を実施したところ、改定前は販売量が若干増加していたが、改定後は減少してしまっている。全体的には余り変わっていない（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	来客数の動き	・都心部にあるためか、新型コロナウイルス感染症の影響で利用客の増加がみられない。また、夏季休暇取得期間の影響もあり、来客数は芳しくない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・3か月前と比べて景気は余り良くない。新型コロナウイルス感染症の影響でケータリングの仕事がほとんどなくなり、まだ回復していない。たまにホームパーティーのようなものが少し入る程度で、会社関係や大使館関係はほとんどない。その分だけ売上が少なくなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・盆踊りなどの再開したイベントには多くの人出があるが、その流れが外食に回ることはない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、物価も急激に上がっているため、消費が控えられている気がする。それに伴い来客数も減っている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の5月1日から28日までの前年比は、売上120.8%、来客数120.9%である。今月8月1日から29日までの前年比は、売上251.9%、来客数221.1%である。前年の8月は5店舗中4店舗が休業していた時期である。新型コロナウイルス感染症の発生前の2019年8月の売上と比べると42.5%となっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・会社の宴会はほとんどないに等しかったが、家族での会食などの予約がかなり入っていたので、悪いとは言いつけない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている。一部で外食する人が増えているものの、行動制限を続けている人も多くいるなか、資材の値上がりが続いており、売価への転嫁もしていかなざるを得ないので、来客数の増加に好影響を及ぼす外的条件がそろわない（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の収束が見通せず、3か月前と同様に法人利用が全くない。やはり宴会需要が大きな比重を占めるシティホテルとして、法人利用がないことが非常に痛手となっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・夏休み期間であることや、県民割キャンペーンなどにより宿泊は高稼働率にて推移している。レストランも家族中心の利用がやや戻り始めてはいるが、結婚式や法人利用の宴会は、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているため、延期やキャンセルになり、ほぼ予約がない状況で、一進一退を繰り返している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症対策の行動制限が大分解除されたということで客も喜んでおり、問合せも結構あったのだが、よく考えるとまだまだ終息したわけではないし、各地で新規感染者数が増えているので、少し様子を見させてほしいという回答が多くみられている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症対策による行動制限はないものの、新規感染者数が増えており、申込みが伸び悩んでいる（東京都）。
		タクシー運転手	それ以外	・コロナ禍の真ただ中ではあるが、まん延防止等重点措置などが実施されていないので、人の動きはあるようである。猛暑とゲリラ豪雨を避けるためか、アプリ配車が多くなっている（東京都）。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・機器等の納品が遅れているため、販売量が増加していない（東京都）。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・他社要因による獲得の勢いが弱まったことから、以前と変わらない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・転入居数を見ると、2021年度に比べれば人の動きが出てきているものの、新型コロナウイルス感染症の発生前の2019年度と比べると元に戻ってはいない。さらに、物価の高騰が電力サービス等にも影響を及ぼしている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入、コース変更共に必要最低限の内容を選択する傾向は相変わらず強い。
		通信会社（経理担当）	単価の動き	・テレビサービスの客の平均単価が毎月10円程度下がり続けている。主に1000円台の商材しか売れなくなっている。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・インターネット関係の契約は増加傾向である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の発生前の水準に、依然として到達していない（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波を受け、来場者数が減ると予想していたが、そこまで影響がない。ただし、利用単価については多少低下がみられる。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・依然として新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりのままで推移しており、政府、自治体から国民への行動制限はないものの、消費者自身が自制している傾向が散見され、回復の兆しが見えてこない。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症やターゲット変更の影響でどん底まで落ちた状態である。少しでも売上に貢献できるようなWeb向けのキャンペーン等を行うことで、微増は保つことが可能と思っている。打ち手については抜本的な改善が必要である。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	来客数の動き	・学生やファミリー客は来場するが、やはり企業の団体予約が入らない（東京都）。
		その他レジャー施設 [映画]（営業担当）	お客様の様子	・当業界では新型コロナウイルス感染症の影響が少ない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響が、中高年の来店頻度がまだ鈍っているような気がする。
		その他サービス [保険代理店]（経営者）	販売量の動き	・販売量は少し減少気味ではあるが、客単価がやや上昇しており、トータルでは変わらない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・今のところ、仕事の内容も案件数も変わっていない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新規受注は少ないが、年度当初に受注した業務が継続しているため、景況の変化は感じられない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・8月は夏期休暇があるためか、ほとんど動かない。また、休暇も少々長い気がする（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。当社が都内と関東近郊の保養地に所有しているホテルの運営状態が非常に悪く、規定の賃料を受け取れていない。9月以降に、観光業が回復すること、また、そのための対策を期待している。住宅の売行きも良くなく、工事の請負業も少ないため、良くない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、多少受注が伸び悩んでいる。
		住宅販売会社（総務担当）	単価の動き	・資材の高騰に伴い、先行き不透明感がある。
		その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（経営者）	お客様の様子	・相変わらず仕事が決まるまでに時間が掛かっているが、なかなか進展がない。我々の仕事は決まるまでに半年から1年くらいまで要することもあるので、非常に厳しい。
		その他住宅 [住宅資材]（営業）	販売量の動き	・建築資材の動きとしては例年並みに戻りつつあるが、もう一段階上の状況にはまだ至っておらず、景気回復を実感できていない（東京都）。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・このところ新型コロナウイルスの新規感染者数が少し増えてきていることから、来客数が減り、それに伴い販売の動きも悪くなっている。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくれないと、商売の方も思うようにいかない。
		商店街（代表者）	それ以外	・やはり新型コロナウイルスの感染第7波の影響がある。来街者数が減っていることと、8月に予定していたイベントは中止せざるを得なくなっている。クレジットカードの取扱高も余り良くない（東京都）。
		一般小売店 [和菓子]（経営者）	来客数の動き	・連日の猛暑続きと新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、お盆の帰省中の台風上陸など、来客数並びに販売量の減少があり、売上が取れていない。
		一般小売店 [印章]（経営者）	来客数の動き	・気温が非常に高く、暑過ぎて外を歩いている客がほとんどいない。それだけではないが、非常に厳しい。
		一般小売店 [酒類]（経営者）	販売量の動き	・所得が増えないなか、光熱費や日常生活用品の価格が上昇し、買い控えが起きている。
		一般小売店 [眼鏡]（経営者）	来客数の動き	・来客数はやや減少又は変わらずといったところだが、売上が前年よりも悪い。
		一般小売店 [傘]（店長）	販売量の動き	・急激に暑くなった3か月前と比べると需要が一段落した感があり、販売量が減っている。
		百貨店（販売促進担当）	それ以外	・今月は、前年が緊急事態宣言中であったため、前年比では3か月前よりも良い。3年ぶりの行動制限のない夏休み、お盆期間であったものの、新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりもあり、来客数は伸びず、目標には届いていない。
		百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・衣料品関連の動きは前年を大きく上回っているものの、3か月前と比べると伸びは鈍化している。前年は緊急事態宣言発出の影響があったため、その反動によるものと推察している。6月に売上が落ち込んだが、徐々に回復基調にある。購買単価は上がっているが購買点数は伸び悩んでおり、値上げの影響によって購入量を控えている様子が見える（東京都）。
		百貨店（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まり、感染第7波の影響により、販売量が悪化基調となっている（東京都）。
		百貨店（管理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が依然として高止まりしており、一時期の解放感が失われてしまったように感じる。行動制限はないものの、感染リスクが根強く残っている（東京都）。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数、買上点数の微減が続いており、数か月に渡って売上未達の状態が続いている。固定客の来店頻度が明らかに落ちてきている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・食料品の値上げもあいまって来客数が減っている。客単価は上がっているものの、来客数が減っているため、売上が前年より5%ほど悪くなっている。衣料品や化粧品などお出かけ要素のある物に関しては、来客数が上がっており、客単価も前年並みなので売上も好調だが、日用品や家庭用品などの家で使う物に関しては、食品と同様に、単価は上がっているが来客数は減っており、売上が厳しい。トータルでは、来客数が若干減少、売上は前年並みであり、厳しい状況にある。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・商材が値上がりしているため、必要な物しか買わなくなっている。安ければ違うメーカーの品でも購入する客が増えている。
		スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言発出中に東京オリンピックが開催された前年同月と異なり、今夏は行動制限がないために巣籠り需要もなく、販売量が前年を割っている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・依然として来客数が伸びず、まとめ買いの客が大型店に流れている。宅配業者が増加し、都市部でのコンビニの存在意義が薄れているかのようである。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は前年と変わらないが、客単価がかなり落ちている印象で、10%程度低下している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・物価高の影響で一部商材に値上げがあり、生活防衛意識からか、壊れる前の買換えが少なくなり、壊れたから、壊れそうだからと買い換えることがほとんどになっている。安価な物を求める客が多い。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数は前年比9割の日々が続いている。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・新型車効果で受注は増加傾向になっているが、納車遅延は解消していない。逆に、新車の納車遅延により、整備部門は好調に推移している。
		住関連専門店（統括）	販売量の動き	・まだまだコロナ禍で買い控えが収まらず、販売量も減っている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が一段落しても、エネルギー高騰からくる物価高で予断を許さない（東京都）。
		その他小売 [生鮮魚介卸売]（営業）	お客様の様子	・長く続くコロナ禍での生活に、消費者も客も変に順応してしまったのか、諦めムードを感じている（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	来客数の動き	・春先から初夏にかけては徐々に回復の兆しが見えつつあったが、7月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、急激な下降線となっている。これまで法人関連が店舗利用をちゅうちょする部分があったが、直近では個人客にもその傾向が見え始め、猛暑も重なり、非常に厳しい状況となっている。8月の実績は、2019年比で売上が40.1%、来客数は37.4%となっている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・久しぶりに行動制限のない夏休みを目前にして、お盆前から急速に消費が落ち込んできた。また、電気代やガス代など、家計の負担が増えている分、なかなか外食にはつなげていない（東京都）。
		その他飲食 [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・前月に比べて来客数が格段に減っている（東京都）。
		その他飲食 [給食・レストラン]（役員）	それ以外	・原材料費、光熱費等の高騰による影響が徐々に顕在化してきており、業況はやや下振れ気味である。取引先には10月以降に値上げ要請を実施する予定である（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・所属支店の来客数、申込件数を見ると、やや悪くなっている。3か月前が夏休み前ということもあるが、新型コロナウイルスの感染拡大も要因の一つである。
		タクシー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がうなぎ上りに増えているため、仕方ない。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が多くなっているので、客足が遠のいているように感じられる。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・イベント復活の兆しはあるものの、自制しているように感じられ、規模が縮小している。大口案件の減少をカバーする見通しは暗い（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入、プラン変更共に、より安価なプランを選択する客が圧倒的に多い。
		通信会社（管理担当）	お客様の様子	・昨今の物価高の影響で、余暇、レジャー、趣味に対する消費力が弱まっていると感じる。客との会話や様子からそのような印象を受けている。
		通信会社（局長）	競争相手の様子	・先日の大手通信会社の通信障害から携帯電話とインターネット全般の進捗が悪く、逆に他社が攻勢をかけているようで、他社切替えに伴う解約が増加している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・景気の影響か、高価格のプランに加入してくれていた客が、低価格のプランに変更することが増えている（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	販売量の動き	・3年ぶりの行動制限なしの夏にもかかわらず、契約件数が余り伸びていない（東京都）。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・顧客の獲得が思うように進捗していない。インフラ整備を行ったエリアにおいても、新インフラへの移行や新規獲得に結び付いていない。一方で、営業活動への支出は変わらないため、結果的に業績は悪化傾向が継続している（東京都）。
		通信会社（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の拡大の影響で、店舗への来客数が減少している（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・やはり客と交わす会話で新型コロナウイルスの感染拡大に関する話題が多く、常連客の来る頻度も微妙に落ちているように感じる。
		設計事務所（所長）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症が長引いており、材料費の値上げもあり、非常に仕事量が減っている。
		設計事務所（職員）	それ以外	・建築業界では民間の投資の動きが止まっているように感じる（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・とにかく今は商材が入ってこず、どういう状況なのか全然分からない。困った状態がずっと続いている（東京都）。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・来客数ももちろんだが、販売量が少なく、売りにくい、売れないというのが現状で、とにかく景気が悪い（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響で来客数が減少している。
	×	百貨店（店長）	来客数の動き	・5月は3年ぶりに帰省マーケットを伴うゴールデンウィークで人流が回復した。それと比べると、8月のお盆時期は隣接駅の利用客が減少していた影響で、来客数自体が減少している。台風の影響もある（東京都）。
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数が落ちており、どうにもならない。
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・今までは来客数が減少しても、客単価は上昇していた。最近では客単価が上がらず、販売量、金額共に減少している。
	×	衣料品専門店（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数増加の影響か、8月は来客数、売上共に極端に悪い。
	×	衣料品専門店（従業員）	単価の動き	・暑さで来客数が減少したことや、仕入価格が上昇したこと、景気は悪化している。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染への心配や、感染による予約キャンセルが多い3か月であった。8月半ば以降は新型コロナウイルス感染症関係でのキャンセルはないが、来客数は増えていない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増えているのに、政府がしっかりとした対策を出してくれないので、客が来ても1人か2人までで、新型コロナウイルス感染症の発生前のような人数の多い宴会利用が全くなっている。
	×	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波により、企画中若しくは新規の一般団体案件が全滅してしまった。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の拡大にもかかわらず、お盆休みの間は人の流れを感じられた。しかし、お盆休みが終わった途端、極端に人の流れがなくなっている（東京都）。
	×	ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・物価上昇の影響が出てきている。また、中小零細企業では最低賃金引上げを見据えて交際費を絞ってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・前年に駅前の百貨店が閉店したが、駅のホームにはあふれるほどの利用者がいるというのに、それでも利用が決まらない。景気が大きく影響している。
	×	ゴルフ場（経理担当）	来客数の動き	・猛暑と天候不順の影響で、8月のコース稼働率は低水準で推移している。特に高齢層において、猛暑のプレーを忌避する傾向が顕著であり、新型コロナウイルスの感染第7波の影響と合わせ、プレー意欲の阻害要因となっている。また、新型コロナウイルス感染症に罹患する従業員が多く、サービスレベルの低下につながりかねない。
	×	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・全国でどんどん新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、死者数が300人を超えている。昨日から少し新規感染者数が減ってきているが、新型コロナウイルス感染症の影響で全ての動きが止まっている。客のところに訪問できないのが現状である。賃金を上げるといふ運動があるが、仕事のない状況で、経営者としてはそれはできない。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約82%となり、やや悪い。3か月前と比べても約23%落ちているため、景気は悪くなっている。コロナ禍でのウッドショックとアイアンショックのダブルショックで、販売価格の値上げをしてからは非常に厳しい状況である。お盆休みの休暇を利用して、少しは商談数が増えたが、販売量の増大につながっていない。
企業 動向 関連 (南関東)		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・リアルイベントが増えてきたので、受注件数が増えている（東京都）。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今現在、受注量、販売量が大幅に伸びているわけではないが、この先の問合せや案件は大幅に増えてきている。受注量も以前よりは伸びている（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷の仕事をしている。実店舗での仕事と、法人への納品の仕事がある。5～7月にかけては毎月1本くらいしかなかった法人の設立印の注文が、今月は3件あった。乗用車販売店と工務店、そして病院業務の会社である。少し法人関係が動いている（東京都）。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・金属加工業だが、受注は顕著に推移しており、半数以上の取引先が販売価格の見直しを認めてくれているので、収益改善もできてきている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているが、行動制限がないことにより、イベント等が開催されている（東京都）。
		通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・5月以降は前年同月比で2けたの増加が続いている（東京都）。
		広告代理店（従業員）	取引先の様子	・地元のプロ野球チームが好調で、それに伴う応援企画等が増えてきている。
		税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響はいまだに大きく、感染が収まる気配のないなかではあるが、会議後の懇親会の開催や家族旅行など、感染していない者同士の活動は新型コロナウイルス感染症の発生前に近づいている。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・新規の公共事業が増えているが、人材不足により思うように受注できない。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・お盆の時期に他の家に行くのを控えているためか、ギフト商材の売上が悪い。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ずっと景気が悪い（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外	・イベントを開催するに当たり、徐々に動きが見えてきているように見えるものの、受注率は落ちている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当社の直接的な出荷先は関東や関西に集中しているが、加工された製品は一般消費財として全国で販売され、個人消費やイベントの回復に大きく左右される。新型コロナウイルスの感染第7波の影響もあり、回復基調は弱い。
	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原材料の値上げが続いていることから動きが非常に悪くなっているようなので、大きな変化はない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、口紅容器の受注は下げ止まったまま回復傾向がみられないが、医療品容器に関しては、前年は世界的に新型コロナウイルス感染症の診療に追われていた業界が徐々に通常診療に回帰してきたようで、受注が大分回復してきている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新規設備関係の受注がなく、仕事が少ない。修理関係の仕事を集める営業に力を入れている。見積依頼が来たら早く見積りを出し、受注に結び付けるようにしている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原因は分からないが、取引先からの仕事量が維持されたので、ここまでは何とか大丈夫である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この3年間、売上、利益共に平行線をたどっている。これは新型コロナウイルス感染症の影響で、展示会や活発な営業活動、海外出張などが抑えられているためではないかと考えている（東京都）。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・電子部品、半導体関連企業は、グローバルの大口価格に景気が左右されるが、3か月前との比較では大きな変化はない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・依然として自動車業界の半導体不足は解消されず、減産が続いている。大手自動車メーカーも、年間生産台数はそれほど減らしていないものの、予断は許さない状況にある。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・最近の得意先の様子だが、来客数が増えてきて、景気が悪いという声は聞こえなくなってきた。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・業種によって違うと思うが、我々不動産業においては、今この地域では売れる物がない、貸す物がないという状態で、なかなか商売に結び付いていない。この先どうなるのか分からない。一つ言えるのは、景気は良くないということである。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・燃料価格が若干下がってきてはいるものの、取扱量は依然として低迷したままで、厳しい状況が続いている（東京都）。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・物流量等が低調なまま、特に変化がみられない。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・来月頃から繁忙期になる予定である。現在は、物量が増えないことと、燃料価格の高騰により、収益が伸びていない。
		通信業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス感染症が再び拡大している（東京都）。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・経済活動は政府の方針で維持されているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、飲食業や飲食業に付随するクリーニング業などではかなり苦戦を強いられている。
		不動産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・新築マンションの販売価格は高値を維持しており、販売進捗から前月と変わらず好調である（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・ロシアのウクライナ軍事侵攻の長期化、続く円安、様々な物価の上昇、収束の見えない新型コロナウイルスの感染第7波など、景気に悪影響を与えていそうな要素が数あるなかで、当社の事業に何がどの程度影響を及ぼしているのか定かではないが、プラス要因が見当たらないことは間違いない（東京都）。
		税理士	それ以外	・夜10時過ぎに近隣駅周辺の商店街の飲み屋をガラス越しにのぞくが、客が全然入っていない。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、客入りが少ないようである。家飲みの人が多いのかもしれないが、各店、これでやっていけるのだろうか（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・雇用調整助成金をまだまだ活用している事業所が多く見受けられる（東京都）。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症や半導体不足、値上がりなどが中小製造業に悪影響を及ぼしているが、一部の金属加工業では受注が増加している（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響が、取引先工場等の稼働率が低迷しており、当社の受注量も伸び悩んでいる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	それ以外	・物価がほぼ変わっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		出版・印刷・同 関連産業（所 長）	受注量や販売量 の動き	・お盆のタイミングまでは活発に動いており、受注も増加傾向で推移していたが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるにつれて、多くのイベントで告知等の引き合いが中止になっている。
		金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・受注量について、内示は高止まり傾向であるが、仕入価格の上昇等を転嫁できないため、給与の増加等もなかなか進まない現状がある。
		建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・材料価格の高騰により単価が上がり、予算に合わなくなっている案件が多くなっている。
		金融業（従業 員）	受注価格や販売 価格の動き	・仕入価格が高騰するなかで、販売価格への転嫁が難しい。また、材料不足、人員不足等で回収までの時間が長期化し、資金繰りに影響が出ている。
		金融業（総務担 当）	取引先の様子	・運送業では、燃料費の高騰と人件費の上昇により利益が減少している。小売業では、特に食品関係の値上げによる買い控えや、少しでも安い店へと客が流れている。建設不動産では、半導体不足や輸入材の高騰により住宅機器や材料が値上がりし、その分利幅が減っている。消費者もガソリン価格の高騰や、日用品の値上がりにより景気回復を感じられず、景気は下向きである（東京都）。
		不動産業（経営 者）	競争相手の様子	・当社が入居している1階店舗で、3年ほど空いていた店舗がやっと決まったと思ったら、1年足らずで退室した。営業がうまく進まなかったようである。1階は4室が空いている。南西の角は、暮れに出てからもう8か月空いており、当社もいろいろ声を掛けているが、賃料が高過ぎるようである。隣のショッピングセンターも、2～3階に空室募集のチラシが結構貼られている。当地域の一等地である百貨店跡のショッピングセンターは何とか満室になったようだが、先行き不安である（東京都）。
		不動産業（総務 担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波による新規感染者数の拡大と夏休み期間が重なり、オフィスへの出勤率が下がっており、館内が閑散としている。飲食系店舗への客入りも悪いようで、春先は回復傾向にあった売上も落ち込んでおり、厳しい状況に戻っている（東京都）。
		広告代理店（経 営者）	受注価格や販売 価格の動き	・物価が高騰している（東京都）。
		広告代理店（経 営者）	取引先の様子	・クライアントの社内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、営業時間の短縮や、新作メニューの導入見送り、それに伴う当社の受注減少などがある（東京都）。
		経営コンサル タント	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症のまん延などで、来客数が減少している。
		その他サービ ス業 [ビルメン テナンス]（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・やや大口の現場が解約になり、その穴埋めができていない（東京都）。
		その他サービ ス業 [ソフト開 発]（経営者）	受注量や販売量 の動き	・客からの依頼が例年より少ない（東京都）。
	x	建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・企業の設備投資意欲は上がっていないと感じる。
雇用 関連 (南関東)		-	-	-
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・求人数は3か月前比で10%強、前年比20%強の伸び率を示している。新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、生命保険会社などの支払事務で短期的な人員要請を受けている（東京都）。
		人材派遣会社 （経理担当）	求人数の動き	・派遣市場における求人数、求職者数は増加傾向にある。派遣利用は、現時点では新型コロナウイルス感染症の発生前の水準まで戻ってきてはいないが、微増ながら回復してきている。派遣労働者数も同様に微増している（東京都）。
		求人情報誌製 作会社（広報担 当）	求職者数の動き	・自社、周辺企業共に、中途採用を通年で継続している。良い人がいれば採用し続けていきたいというスタンスだが、思ったより採用できていない（東京都）。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・卸売、小売、飲食、宿泊業の求人数が大きく伸びている。また、正社員の求人数も大きく伸びており、企業の採用意欲は極めて高い（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人対象が国内外等、幅広くなっている。求人企業の選択幅が広がっている（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・多くの求人をもたらっており、採用人数が増えているように感じる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前と同様に求人数は多い。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・大型の請負案件での需要に下支えされている（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・人材派遣は受注、成約共に変わらず堅調である。人材紹介は依頼数は新型コロナウイルス感染症の発生前くらいまで回復してきているが、人事、経理、技術などの専門職種の割合が増えてきており、人材不足職種のために他社との争奪戦になっている（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・自動車メーカーからのITエンジニアニーズは依然として多く、システム需要の底は見えない（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は微増しているものの、根本的に上がってきているとは考えにくい。ただし、底を打った感はあるので、徐々に景気も上がっていくのではないかと期待を込めて考えている。
		求人情報誌制作会社（営業）	求人数の動き	・3か月前と比べてもそこまで変わった様子はない。前年に比べたら、今年は比較的求人数も多く、安定した時期が続いている。新型コロナウイルス感染症の波が行ったり来たりしているが、求人数に大きく影響するほどではない。とはいえ、とても景気が良いといえるところまでは至っていない。新型コロナウイルス感染症の話題が出てこなくなるくらいまでいかないと、景気が良くなったと実感するのは難しそうである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、飲食業のパート求人が大幅に減少した一方で、タクシー乗務員など旅客運送業の求人が増加している。新型コロナウイルス感染症が拡大するなかで、密回避の移動手段としての需要が背景にあるものと推察される。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・企業は秋採用を準備しているが、公務員試験で内定が出なかった学生や留学生を積極的に採用しようという人事は少ないようである。採用枠を増やす企業も余りない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・会社の業績は良化しているが、給与は増えないため、物価の上昇に付いていけず、身の回りの景気は悪化していく（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・添乗員や旅行会社向け事務員派遣を中心にしているが、新型コロナウイルスの感染第7波により、グループツアーの取消しが多く出てきている（東京都）。
		求人情報製作会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響もそうだが、世界的な異常気象や相変わらずの円安など、現在、事業者を取り巻く環境には好転材料がない。原材料の高騰やこれからくる最低賃金の引上げに対応すべく、価格転嫁もなかなかできず、おのずと採用を控えるようになってきている（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は製造関係、なかでも食品製造が募集を増やしてきている。また、小さな運送会社の倒産、廃業が目立っている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・物価の上昇に伴う不景気が予想される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	求人情報誌製作会社（所長）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、クラスターなども起きている。中小企業では、仕事を増やす対策が止まってしまうなど、活動のスピードが止まる傾向にある。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するなかでの、3年ぶりの行動制限のないお盆休みや、延期となっていたライブイベントの開催等で、来客数が増加傾向となっている。
		その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀依頼がとても多い。また、隣の町役場からも依頼があり、パイプができた。高齢者は新聞の切り抜きを持って、60代以下の比較的若い方はスマートフォンで調べて連絡してきている。9割の方はお寺を呼ばずに「お別れの会」だけで葬儀を実施という状況である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・行動制限がなかったこの夏は観光客も増え、新型コロナウイルス感染症の発生前の70%くらいまで戻ってきているが、お金の使い方は渋くなっている。
		一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・夏物を中心に、商材全体の動きが良いと感じている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は猛暑で、飲料やアイス等の売行きが好調である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足による新車供給遅延は続いているが、大量のバックオーダーが納入され始めている。新型車イベント効果もあり、足元の受注も順調に推移している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・現在の状況だが、新型コロナウイルス感染症の発生前に比べて74%まで回復してきている。今月はかなり良い状態で、前年比120%となっている。夜の売上は余り伸びないものの、昼の売上はやや良いという感じである。皆が新型コロナウイルス感染症に慣れきたということもある。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症に対しては感染対策を施して経済活動を行うという意識が普通になり、ウクライナ侵攻も通常状態となってしまう、経済活動に悪い影響が出にくくなってきていると感じている。
		設計事務所（職員）	来客数の動き	・物件依頼数は多く、これから基本設計へ進める段階の案件も多くなる。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年、お盆明けから2学期が始まり、新学期が始まる前にはいろいろな物を新調したいということでかなり売れていたが、今年はどうなっているのかと思うくらい客足が遠のいて、期待外れである。
		一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・エアコンを始めとした季節商材の動きも落ち着き、全体的に商材の動きは静かになっている。いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、先の様子は不透明である。いろいろな物が値上がりしていくなかで、消費者の消費動向は鈍い。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波と物価高の影響もあり、なかなか芳しい状況にない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響による巣籠りと帰省の回復が同時進行している。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・8月25日時点で、前年比で売上は1%減、来客数5%減となっているが、27～28日にかけて忙しく、月末では前年を超える予想をしている。1泊すると2000円の商品券がもらえる県民割の利用店舗適用申請を8月にした効果で、500円券が70枚ほど利用されている。遠いところでは、30分も離れたホテルからわざわざ1000円の券を使うために来店している。9月から、当市独自のプレミアム付商品券も始まるので忙しくなる。早く新型コロナウイルス感染症が収束してほしい。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・いろいろな物の価格が上がったこともあり、客単価というか買上点数がやや厳しい。やはり来客数が減っており、単価の高いたばこ等は増えているものの、日用品が厳しい状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・円安など物価高の影響で、購入客が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備はお盆休み前後で順調に推移している。車両販売は、相変わらず中古車市場の高騰が続く、新車販売も人気車種の納期の予定が付かず、ディーラーと契約を結ぶことすらできないことがあり、低迷している。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・商材の再値上げ等の影響もあり、一時的に来客数等は増えているものの、燃料費を含めた物価上昇による客の節約志向は強く、景気が良くなっているとはいえない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の別系統の影響で、新規感染者数の減少が見込めないが、出足はぼちぼちあり、極端な落ち込みは見られない。当店もかなり厳しく来店制限をしているため、大幅な売上増は見込めない。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、景気は悪いままで変わっていない。本当に地方は困っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊稼働率が前年8月に比べて120%ほどになっている。良かった理由は、地元の花火大会の開催や行動制限のない夏休みで、お盆を中心に県外客がたくさん来たためである。一方、新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、納涼会は95%近くが開催中止となってしまっている。
		旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は増加と減少を繰り返しており、感染減少時には販売量が増加し、増加時には販売が減少している。この繰り返いを総合的にみても、特段変化は見られない。
		観光名所（職員）	それ以外	・来客数は戻りつつあるが、食材の原材料価格高騰により、原価率が急激に上がっている。飲料等の仕入商材も軒並み値上げで、いよいよ当社も販売価格の値上げを強いられる状況になっている。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・来場者数は横ばいだが、客単価は前年実績、予算共にクリアしている。また、売店では地元商材を積極的に販売できるフェアを行う。一方、経年劣化による設備費用が増加している。
		一般小売店【薬】（経営者）	来客数の動き	・来客数は減っている。8月は閑散期ではあるが、販売量、その他もろもろで低下している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・電気代や燃料費の高止まりが、継続している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比べれば、季節要因で来客数は伸びているが、季節要因以外の影響は考えられない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・買上点数は横ばいだが、来客数は時間帯ごとに、朝、昼、夕方にピークがあったのが、大分なくなってきて、ちょっと厳しい状況である。
		その他専門店【酒】（店長）	お客様の様子	・夏のお盆前までは順調だったが、後半は新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受けている。今後も厳しくなるのではないかと、日用品の物価が上昇しており、客が口に出して言うわけではないが、様子を見てお酒への消費をやや控えていると思われる局面がある。
		高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の別系統による爆発的な第7波の感染拡大で、行動制限はないものの、会食の機会は少人数に限られ、宴会等の開催は限られている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの頃は良かった。忙しくて幸せだった。今ではもう、良いも悪いも新型コロナウイルス感染症次第なので、どうにもならない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・7月上旬までは、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や県民割の後押しによって売上が回復してきていたものの、7月後半から新型コロナウイルスの感染第7波により、予約の増加ペースが急に鈍化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数増加に伴い急激に来客数が減少し、予約のキャンセル等が増加している。しかし、今までの新規感染者数増加時とは違い、利用客や行動する方が以前よりも多くいるため、極端に落ち込むことはなかった。ただし、団体や法人関係の利用はほぼ消失したので、結果的には悪化傾向にある。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・CMや広告の反響が鈍くなっている。これといった原因は不明だが、景気や市場の低迷というより、競合他社の大規模なキャンペーンの影響が大きいと思われる。
		その他サービス [貸切バス] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波がなかなか落ち着かないため、人の流れが悪い。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・県内唯一の百貨店が来年2月に閉店する。これに合わせて閉店を決めた店、特にここ数年で出店した店の閉店決定が、目につくようになっている。街への人も、コロナ禍では先々に明るい材料が全くない。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・物価高で、買い回り商材を買う余裕がないように見受けられる。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場](経営者)	来客数の動き	・行動制限のないなかではあるが、新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受け、団体予約はキャンセルになっている。新規感染者数が高止まりで減らない状況で、厳しい状態が続いている。
企業 動向 関連 (甲信越)		*	*	*
		食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・人の動きは前年より大幅に増加したが、8月は大変暑い日が続いたために、ビール系の飲料に押され、やや苦戦している。
		電気機械器具製造業 (経営者)	それ以外	・今月は部材の入荷があり短納期対応で忙しく、景気の良さも感じている。
		食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・前月より若干受注は減少しているが、おおむね計画の範囲内である。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に低迷している。新型コロナウイルス感染症の影響で、ワークショップ予約も減少している。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・直近では、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているので、受注活動を少し控え気味にしている。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、観光関連への影響が懸念されたものの、今のところ想定を超える落ち込みはみられない。製造業の受注は、高水準ながら半導体不足の影響が継続し、一進一退の状況にある。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・3か月前よりは観光客の増加がみられ、観光業の景気が上向くと期待している。ただし、新型コロナウイルスの感染第7波の影響から、やや鈍さを感じている。
		新聞販売店[広告] (総務担当)	それ以外	・依然として物価高が続いており、この先も生活必需品を含め値上げ傾向にある。企業や消費者は、節約傾向で量的に流通量が減っているように感じられる。
		その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	取引先の様子	・小売店舗ではお盆期間中の客足が大幅に減少し、売上が低迷している。催事としても、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響で、来場客は前年の1/3と散々な状況である。さらに、催事の売場担当者の感染や家庭内感染で数日休業する店舗があったりと、様々な影響が出てきている。
	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・仕入価格はどんどん上がってきているものの、値上げができず、利益を出すには厳しい状況である。
雇用 関連 (甲信越)		-	-	-
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年7月以降、前年同月比で増加が続いている。有効求人倍率も前年8月以降は1倍を超えており、直近では、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準まで回復しつつある。
		人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・相変わらず、消費動向が上向かない。週末などの通勤時に駅前を見ても買物袋を持っている方が少なく、百貨店も貸切状態で地下食品売場だけは集客しているようだが、客は減っている。まだ景気回復はない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・観光需要の高まりから求人が出てきている一方、建設業等ではウッドショックにより求人が低迷している。その他原材料不足や輸送コスト、電力コストなどの相次ぐ値上げによる求人への影響も懸念される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・景気の上向きに直前に対応するため、契約、派遣、パート等社員の求人が増えている。正社員求人も増加傾向にはあるものの、採用に慎重な姿勢は崩していない。
		-	-	-
	x	-	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・行動規制がないため、2019年並みに戻ってきている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えて来客数が減少していたが、夏休みに入りたくさんの方の来店があり、必然的に売上も上がった。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株が次々現れ新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に増える現象が、社会・経済を大きく痛めつけている。観光客は、マイカー利用の若年層がほぼ新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ったが中高年層はまだまだで、観光バスもちらほらである。全体では75%の戻りである。
		スーパー（店員）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で帰省をキャンセルした人が多かったのか、お盆商戦では贈答用の果物が余り売れなかった。暑さの影響もあり、正午から夕方にかけての来客数も減少傾向がみられた。
		コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・8月の売上は前年比104.6%と好調であった。天候に恵まれない日が多かったが、行動制限のないことから前年の反動で来客数への好影響となった。前年比で見れば、小売業界は回復基調にある。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数や売上は微増である。派遣労働を取り仕切る会社の注文が増えてきており、仕事の増加を実感する。
		衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・衣替えてスーツを2点購入する客や、下取りが段々と定着してきたため下取り衣料を持込んで新たにスーツを購入する客も増えてきた。できるだけ安くという客の意識は変わらないが、6～7月にかけてよりも重衣料がかなり動いており、目標予算は全て達成している。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・値上げの影響もあり単価が底上げされている。結果として前年並みの売上となり悪くない。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波で新型コロナウイルスの新規感染者数は急増したにもかかわらず、来客数は減っていない。客の様子も、新型コロナウイルス感染症に対する意識が変わってきていることを実感する。ただし、提供する商品の供給が遅れており、以前より良くなっているが回復したとまではいえない。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・小規模及び大規模改修のリフォーム工事、企業の設備投資や商業施設のリニューアル及び新店の引き合いが多くなっている。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	来客数の動き	・店内外の集客イベントも実施され、街中への集客が戻った。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症、ウクライナ等の問題を抱えつつ進んでいくしかないという現実が、日常になってきた。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・県民割などがあり、地元の客が近場志向で多く利用してくれている。3か月前よりも新型コロナウイルスの感染が拡大しているなか、家族連れで利用してくれているため、やや良くなっている。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、レストランの個人利用が改善した。宴会など法人利用は依然として少ない。
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・社員旅行など会社行事の動きは悪いが、小グループの任意団体や有志団体では、宿泊旅行が実施され始めている。	
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・ウィズコロナが定着しつつある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・毎年8～12月にかけて行うセット商品のキャンペーン販売が始まり、同時に人気商品のキャンペーンもあり、その購入が多くあった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・今まで新型コロナウイルスの感染予防で行動制限をしていた人が、少しずつ動き出している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増えているが、慣れもあり少しずつ客の出入りが良くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・週末の商店街の入出は多く変化はない。ただし、客単価は依然として低い。
		商店街（代表者）	それ以外	・取引先の卸売、小売店では廃業や閉店が相次いでいる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・ウクライナ問題や物価上昇があるため、どちらともいえない。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症終息の見通しがいまだ立たない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスと猛暑で客が出てこない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・平日の来客は特に少ない。高齢の客も段々と買物に出てこなくなった。新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・夏場に動く商品は結構動いていたが、個人客はコロナ禍で少し停滞気味である。しかし、法人関係では少し動きがあって伸びており、全体としては変わらない状況である。個人の財布のひもは固く、会社の消費は少し余裕が出てきた様子である。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店に客が来店しても長くは滞在しないためアルコール販売量が増えない。配達員の勤務態勢は、交代で休ませたり夕方前に仕事が終了してしまう状況である。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	お客様の様子	・多少円高傾向にあるが、まだ先が読めないため買い控えがある。
		百貨店（売場主任）	それ以外	・セールが終わり客の購買意欲も少し落ち着いている。定番商品をメーカーに問い合わせても在庫がなく、取扱店舗で商品が行ったり来たりしている状態である。客の要望で取り寄せをしても、購入はせず在庫を確認するだけの客が多く、売上には結び付いていない。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・時計などの高額品は引き続き好調を維持したものの、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、高齢者の来店や買上が急減したことに加え、お盆などの移動や旅行が手控えられたこともあり、土産需要が想定を下回る形となった。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年を上回ってきてはいるが、2019年と比較すると20%弱減少している。今月になって新型コロナウイルスの新規感染者数も過去最高を記録しており、例年の来客数までは当分戻らない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響があるのかは分からないが、金の使い方に変化がある。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で来客数が減少した。中高単価の商品は比較的安定して稼働したが、全体的な買上率は伸びてこなかった。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・相変わらずコロナ禍が続いており、来客数が増えてこない。富裕層の購買動向は特に変化なく、低迷はみられない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・雨天の日が多かったことで来客数が前年より3%減少し、また、買い控えにより買上点数も減った結果、売上減少となった。
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・買上点数、来客数共に前年を下回っているが、3か月前とほぼ同じ状況で推移している。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが、人の動きはそれほど減少していないため、前年を上回る状態が継続している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症と天候により、上向きになりきれない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年の20～25%増加で推移しているが、新型コロナウイルス感染症発生前の数字よりまだ1割程度マイナスである。この状況が3か月ほど続いている。
		コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・3年ぶりに行動制限を伴わないお盆を迎え、帰省などで店舗を利用する客は瞬間的に増加したものの、来客数としては新型コロナウイルス感染症発生前に比して7割強と、3か月前からのすう勢に変化はみられない。
		衣料品専門店（売場担当）	単価の動き	・客単価は全体的に低い傾向にあるため、1人当たりの購入点数に変化がなくても、売上は減少している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・成約数は3か月前と比べると若干増えたものの、相変わらず納車に時間が掛かることに変わりはない。厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注はできるものの、納車時期の遅れが改善しない。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客や周囲に話を聞くと、いろいろ旅行や遊びに出掛けたり、買物をしている様子であり、景気はやや良い状況に近い。
		一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・注文する料理の単価がぐっと下がっている。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・コロナ禍でも過度な自粛ムードは薄れ、飲食店や個人消費も新型コロナウイルス感染症発生前の水準にほぼ戻っている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・現在は県民割による旅行が続いているため好調である。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ消費は、外出規制がなくなり回復し始めているが、以前のような外国人観光客の本格的な回復には至っていない。外国人特定技能者への外食、宿泊などの人数枠も当初予定より減らすという事態になっており、サービス業の回復はまだまだ先になる。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が最悪の割には、キャンセルは少なかった。しかし、ここ数週間は新規もない。家族感染が多いため新規予約や先の見通しが難しいとか、旅行を計画する雰囲気ではないと客からは言われる。また、新型コロナウイルスに効く特效薬があれば何も不安なく旅行を計画できると言われた。県民割の効果も薄れていて余り有効ではないため、やめるべきである。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波により新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高止まりである。周りの関係者や客でも陽性者になって一定期間の隔離が生じ、旅行取消しや業務の人員に支障を来すという日々が続いている。個人旅行は、第6波に比べれば取消し件数は少ないが、新たな旅行計画も少ないままである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・悪いままで止まっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月に入ってから当県でも新型コロナウイルスの新規感染者数が非常に多いが、緊急事態宣言や行動規制は出ておらず、湿度が高く暑い日が多かったため利用客が多かった。特に、お盆を挟んだ10日間ほどは帰省や行楽地などへ出掛ける客も非常に多く、デパート、ピヤガーデンや夜の店にも結構入出があつて良かった。地元の大きなイベントも、3年ぶりに開催された。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の関係でリモートワークが増え、光回線の新規申込みが増えた。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・機器の搬入時期が決まり、工事の準備を進めている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候が不安定で、客の動きが安定しない。
		テーマパーク職員（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で人出は減少しているが、販売面では余り変化がない状態である。
		観光名所（案内係）	お客様の様子	・夏休みで少し人出が戻っているが、諸物価上昇のため、とても長くは続かない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、お盆期間中に実施の臨時列車は空振りとなり、その他にも観光目的で利用しやすい便の編成両数を増やしたものの、集客につながらなかった。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	お客様の様子	・来客数は悪くないものの、購入層の来店が鈍っている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・コロナ禍で新型コロナウイルスの新規感染者数も増加傾向であるが、生活形態も安定している。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	お客様の様子	・夏季休暇が例年より多く、結果が芳しくなかった。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・一時期落ちていた新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増えてしまったため、予約のキャンセルや、宴会等が中止になってまた元の状態になった飲食店が多い。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	お客様の様子	・輸入品の価格が軒並み上がり、客も買い控えているように見受けられる。
		百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・土日やお盆休みを中心に来店客は増えてきたが、その平日の来店客の動きが鈍い。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・原価が非常に上がってきていて、売価を上げざるを得ない状況にある。売れていた商品も動かなくなってしまい、そういった品目が多いため全体的に商品が動かず、売上には本当に結び付いてこない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・買上点数が一向に上向いてこない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月は売上の最盛期であるはずが、新型コロナウイルスの感染拡大により来客数が再び下降傾向にある。政府の行動規制等がなかった分、お盆の催事や週末の行楽客などの来店はあるものの、メイン客層のオフィスワーカー等の来店が少なかったことにより、平日の来客数が減少している。
		コンビニ（店長）	それ以外	・原材料の価格高騰に伴う値上げが引き続き多い。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・今月はお盆休みがあり、来客数が減って弁当や総菜の廃棄が目立ち、売上にも影響が出た。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・今年はエアコン商戦が早く、6月の売上額は前年比プラスだったが、7～8月にかけては売上の落ち込みと来客数の減少で前年比3割減少であった。店でも新型コロナウイルス感染者が出て、感染拡大の第7波はとて身近に感じる。来客数も少ない上に大物商材も売れず2重苦である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の納期がかなり掛かっており、販売台数も鈍化している。販売停止中の車や納期が1～2年掛かる車も多数あり、客が車を買いつらい状況が続いている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月も電気・ガス料金、燃料価格等の生活インフラに関わるコストの上昇が客には強く感じられる1か月となってしまった。今必要な物かどうかという判断が強く、なかなか車の購入まで考えることは難しいと言われる。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、来客数や街中の通行客が減少している。警戒心から、特に高齢者の外出が激減している。
		高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・7月下旬からの新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、急激に来客数が減少している。お盆や休日、8月下旬の新型コロナウイルス新規感染者数の減少時には前年以上の来客数があるが、8月としては計画より低い結果となる見込みである。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・食品、飲料、酒類といった全ての仕入れにおいて、価格が上がっている。
		都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・せっかく予約が入ってもキャンセルが続く。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、宴会は8月の法人予約がキャンセルとなった。レストランは夜が弱い。宿泊は稼働してはいるが、単価が上がらず厳しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		レジャーランド（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波により新規感染者数は連日最多を更新するものの、行動制限がないため、過去2年の8月と比べるとマイナスの影響は限定的である。新型コロナウイルス感染症発生以前の7割程度の水準である。感染拡大により従業員にも感染者や濃厚接触者が多くなり、営業体制が調わず機会損失となるケースが発生した。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・8月はすっきりと晴れた日が続かず、入場者数は予算に大きく届かなかった。天候の悪かった前年の8月よりは好転したものの、好調に推移した3か月前と比べると残念な結果となった。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月は忙しい時期のはずであるが、客が余り来てくれなかった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルス感染症の影響である。これだけは本当に大変である。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・客からは景気についての話は全く聞かない。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・物価上昇が止まらない。いろいろな企業努力をしても限界がある。購入特典などに回す余裕がない。客も買い控えの傾向にある。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・新築を担当する部署の人員が、リフォームの部署に異動となっている。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	それ以外	・不動産業の社長は、新築も中古住宅もなかなか売れず目標達成ができずとうとう人手を減らしたと、業界の大変さを語っていた。これまではローンを組んで住宅を購入していた客層でも、今は先々のことを考えて賃貸物件を探す客が増えているそうである。明るい話がなく、見通しが立たないのである。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・とにかく来客数が極端に少なく、更に悪くなっているため、販売量や売上につながらない現状である。
	×	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・今月に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大が急激に進み、個人、企業共に出控え傾向がみられるほか、飲食レジャー関連の消費マインドが減退している。
	×	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年の95%以下で推移し、買上点数も95%以下で推移している。
	×	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・季節の変わり目で秋物商材が売れ出した。商品の値上げは続いているが、依然売上は予算未達である。
	×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、地元の各種団体の行事が相次いで中止となった。その影響で売上も低迷している。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・1日当たり来客数が、前年と比べて50人程度少ない。新型コロナウイルスの新規感染者数の急増、物価高騰、天候不順などが理由として考えられるが、それにしてもひどすぎる。おにぎり1個だけ、又はコーヒー1杯だけという客が増えたことも、今月の傾向であった。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症が収束しないまま連日の猛暑で外出を控えている上に諸物価の上昇で、以前は半額にする一見客でもせっかくだからと購入してくれる雰囲気があったが、今は全くない。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・注文数が激減している。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月は販売が全く振るわなかった。8月とはいえ少な過ぎる。最近の傾向からみると今月はとても悪かった。成約もなく、これほど悪い月はない。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・製造業がものづくりをできない状況にあるため、非常に景気が悪い。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・売上は例年と比べ2割ほど落ち込んでいる。特に来客が少なく、客単価も少し落ち込んでいる。
	×	バー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の広がり、一段と客足が伸びない。ますます減っている。
	×	都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、法人宴会、同窓会などの宴会需要が5月から6月までと比べて2割ほど減少している。レストランも同様に予約が減少している。
	×	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・7～8月にかけて、新規契約者数はここ数年で最低レベルとなっており、解約件数も高止まりしている。折込チラシや相談会の反響も大きく減少した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きから、悪くなっている。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・現時点で案件がほとんどない。
	×	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・土地の売物件が少なく大手の会社が高値で購入していくため、中小の分譲業者には土地がなかなか回らず購入できない状況である。
企業動向関連 (東海)		-	-	-
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加している製品がある。しかし、原材料の値上がりに対して販売価格は従来そのまま納入せざるを得ない製品もある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新製品の影響もあり、若干上向きである。
		不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多く、下旬には徐々に新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向となり、外出や遠出をする人が徐々に増加傾向になっている。厳しい状況ではあるが、今月の売上は前年を上回る状況となっている。
		公認会計士	競争相手の様子	・仕入れなど物価上昇の影響を、少しずつ売価に反映できる企業が増えている。新型コロナウイルスの新規感染者数は相変わらず減っていないが、市場自体がこの状態に慣れてきている。人流も以前と比べると増えており、対面のサービス業では来店客が少しずつ増えてきている。しかし、物の流れについては、材料の納品状況が改善していない業種もある。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・長らく雇用調整助成金を受給している飲食店でも、休職する従業員が減ってきている。法人については、取引先からの発注が増え、利益を伸ばしているところが多い。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・夏季にリベンジ消費や旅行を楽しむ人が増え、大勢として景気は上向きであったが、物価高や天候不順が冷や水を浴びせている。元総理の襲撃事件や国葬に対する論争なども、景気にはマイナスのムードが漂った。
		金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量は、プロジェクトが動き出していることもあってか、さほど増減がなさそうだが、ちょうど原材料が価格高騰する時期なので、価格転嫁が遅れている分、収益は上がってこない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米自動車部品向けの設備投資は、引き合いの数は減っていないが、今月は受注が少なかった。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が収束しない影響は大きく、客先で新たにリニューアル予定であった案件の延期や閉店が出ている。設備投資に関しては現在余り良くない状態で、当社の売上も少ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は23%以上の伸びだが、材料、素材の値上がりも23%を超えている。鋼材使用量等にも変動がない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・部品、原材料の値上がりが止まらない。以前の1.5～2倍くらいになっている物もたくさんある。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・この2年ほど新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期になっていた仕事でも、コロナ禍とはいえやらざるを得ないという状況になると、発注若しくは実行できる形になってきたため、過去の分と今年度予算とで仕事は増えてきている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連製造業の物量が回復しない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷主の業種によって、受注量が増えているところと減っているところがある。自動車関連の荷主からの引き合いは、大幅に減っている。当社あるいは全体での仕事量はやや上向きであるが、受注量が減った荷主がいつ回復するかは不透明である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・季節的な変動はあるものの、例年どおりである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（エリア担当）	それ以外	・来春オープン予定の新事業所の建築工事が進んでいるが、材料費、建築費などが値上がりし、かつ、再値上げる間隔が非常に短い。しゅん工までまだ様々な作業、工事があるが、当初予算よりも雪だるま式に増えており、既存事業所の修繕工事にも波及している。これでは景気は良くならない。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・最低賃金や路線価の上昇、年金財政の黒字といった良い話題もあるが、ロシアの侵略戦争による物価の上昇や米国金利引き上げの影響で我が国でも景気後退の懸念があり、消費者マインドを冷やす。
		金融業（従業員）	それ以外	・身の回りの様子からも物価の上昇が生活に大きな影響を与えている。また、新型コロナウイルスの新規感染者数も減っていないことから、景気は変わっていない。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・多くの物品価格が上がってきており、コスト増が顕著になっている業種が多い。価格に転嫁できない企業も多く、コスト増が企業業績に与える影響は引き続き大きい。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・中古物件の価格が緩やかに下降している。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急に増加したため、企画中だった広告の案件も、保留か中止になっている。
		行政書士	取引先の様子	・パソコンを通じての商売になったため、心としての付き合いが薄れ金次第のようである。
		その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	競争相手の様子	・全体的には7月と変わりなく、全て慎重な動きである。どこかで先駆けする企業が現れると面白いが、そのタイミングが近づいているようにも思われる。当社としても悩ましいところである。
		食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に減少している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・原材料、輸送費やその他物品の値上げ、円安、ウクライナ問題、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自動車関連等の受注量、販売量が減少している。物の動きが悪く、景気はやや悪い。
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・液晶塗料の需要が低調であり、容器使用量は減少している。
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・原材料の入手難への懸念から各社より先行注文があったが、特に自動車関係等では、電子部品の入手難で生産量が落ちているため、納期の先延ばしを依頼されるようになった。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に通常時より2割ほど落ち込んでいる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・電子部品の需給問題により、機器生産が計画どおりとなるか不安な状況が続いている。また、原材料の価格高騰により利益が圧迫され、前年比で減益は避けられない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・様々な部品供給が不十分で、想定した組立て予定どおりに製品ができていない。計画の7～8割くらいの状態である。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・いろいろな物の値上げがあり、収入が変わらないなかでの物価高で苦しい。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・新築分譲マンション、分譲住宅共に契約件数が伸びていない。中古のリノベーション再販も不調で、契約件数が伸び悩んでいる。
		通信業（総務担当）	それ以外	・物価高騰、値上げラッシュにより、消費者の購買意欲がそがれ始めている。買い控えや優先度の低い消費が抑制されている。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・飲食店を営む友人から8月は1人も客が来ない日が何日あったと聞いた。また、よく行く店では一旦延びた営業時間がまた短くなった。新型コロナウイルス新規感染者数が増えており誰も食事に誘えなくては、仕方がない状況である。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・景気としては比較的横ばいに近い状態であるが、円安のため貿易関連の事業者からは、現在の傾向は余り良くないと聞く。
		不動産業（開発担当）	受注価格や販売価格の動き	・分譲住宅市況が少しずつ鈍く、悪化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	それ以外	・食品の単価が値上がりしており、特に異常気象のため野菜などが値上がりしている。一方でガソリン価格は下がり始めている。
	x	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの出稿が激減している。
雇用関連		-	-	-
(東海)		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・年度の半期折り返しに合わせた派遣募集が多い。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同月比で緩やかながら増加が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の主産業である製造業が、新型コロナウイルス感染症発生前と同程度の求人数になってきている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・企業側の採用意欲は、外部環境の変化がありながらも旺盛で、優秀な人材の確保に向けて施策を進めている状況である。売手市場の様相は、より鮮明になってきている。
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・開発活動は活発で、開発支援需要は引き続き旺盛である。新型コロナウイルス感染症の第7波による休業者が多数出たが、収束方向にある。
		人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・相変わらずの新型コロナウイルス感染症への不安により、企業も攻めの態勢に転換できない状況である。人手不足、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響から、当面はこの状況が継続する。
		人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比でやや増加しているが、大きな改善はみられない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は3か月前比では減少しているが、前年同月比では増加している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車業界は、依然部品供給・半導体不足が改善されず、工場の生産調整で稼働停止が続く。構内請負業や労働者派遣業から派遣される労働者は残業が見込めず、忙しい業種へ転職する動きも見られる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症、円安、ウクライナ問題など解決の見通しが立たない事案がある。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・長引くコロナ禍とウクライナ危機の影響で、地元経済はずっと停滞している。観光施策で一時は上向いたが、すぐに中止になり元に戻った。さらに半導体不足や原料高も加わって景気は低く落ち込んだままである。大手企業には好業績のところもあるが、中小企業の多くは厳しい状況で、店舗の入れ替わりも多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べると微増である。宿泊、飲食業では3か月ぶりに増加がみられたが、製造業では数か月ぶりに減少となった業種が目立った。円安の影響が出ているようである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数と有効求職者数共に減少したが、有効求職者数の減少幅が大きいいため、有効求人倍率は若干上昇した。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で予約のキャンセルが相次ぎ、求人数も減った。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・ガソリン価格の高騰により必要経費が上昇し、経営を圧迫している。中国でのロックダウンに伴う半導体の供給不足により生産が遅延している。物価上昇による消費の冷え込みが影響し、売上が減少している。	
	x	-	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		一般レストラン（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症が拡大したが、国からの行動制限がないため客の行動は活発である。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	お客様の様子	・観光客が徐々に増加しており、観光地の売上は回復傾向にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(北陸)		コンビニ(店長)	単価の動き	・売上総額で見れば、新型コロナウイルス感染症発生前近くまで回復している。その主な理由は商品単価の上昇によるもので、1人当たりの買上単価は数年前と比べて100円近く上昇している。その一方で来客数は変化がないか、むしろ減少している。売上が増加しても、経費や仕入額はそれ以上に増加しているため、仕入れ等の原価率は悪化しており、利益は減少している。経営者としては極めて厳しい経営状況である。この状況を良くなっていると判断するかは疑問である。
		自動車備品販売店(役員)	販売量の動き	・9月から冬用タイヤが値上げされるため、今年は例年以上に問合せが多く、販売数量も大幅に増加している。先行きを心配しての購入かもしれないが、必要品は少しでも安い価格で購入を希望する客が多い。しかし、性能重視で価格の高い商品を選ぶ傾向も強くなっている。
		観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・夏の繁忙期に豪雨による交通網の寸断があったが、ファミリー層を中心とした宿泊客により、売上は新型コロナウイルス感染症発生前の8割まで回復してきている。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症第7波の影響で引き続き入込客は低調である。ラグジュアリー関係はいまだに好調とのことで、どのような動きをするか注目している。行政の支援策は飲食業に対してばかりのようにみえる。行動制限がないとはいえ衣料品等の業種も厳しいため、何か良い支援策がないか思案している。
		一般小売店[精肉](店長)	販売量の動き	・3か月前からの落ち込みが継続している。
		一般小売店[書籍](従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりの状態にあり、経済活動は良くなりそうにみえて、それほど変わらない状況が続いている。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・前年は8～9月にまん延防止等重点措置が適用されていた。今年はその反動からラグジュアリーブランドを中心に高額品が好調に推移している。観光客も回復基調で街全体がにぎわっているが、それでも店全体の売上は2019年との比較では約10%減少の見込みである。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・買上点数に変化はみられない。
		スーパー(総務担当)	それ以外	・最低賃金が上がったことでパートなど収入が増加する人もいるが、社員の給与が上がるわけではなく冬のボーナスは望めない。さらに、水害等で多くの被害が出ており、新型コロナウイルス感染症が収まったとしても、大きな経済効果はみられないと考える。
		スーパー(統括)	お客様の様子	・今年のお盆期間は帰省する人の数が増加したが、一定期間の影響であり大幅な変化ではないと考える。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・明るい兆しがみえたかと思ったが、新型コロナウイルス感染症第7波の影響が色濃く出ており、売上は前年同月と比べてマイナスのときもある。
		家電量販店(本部)	販売量の動き	・前年に売上の悪かったエアコンが好調に見えるが、全体的には厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・メーカーからの新車納入に時間が掛かる状態は以前と変わらず、販売量の確保が困難な状態が続いている。
		その他小売[ショッピングセンター](統括)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症第7波の影響は軽微だったが、旅行や外出などの需要は新型コロナウイルス感染症発生前の水準まで回復していない。お盆期間は帰省客が多かったが、セール品等の動きが中心で定価品の買上率は低くなっている。
		観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・売上は前年同月比で163%だが、新型コロナウイルス感染症発生前との比較では69%であり、回復したとはいえない状況が続いている。
		通信会社(職員)	お客様の様子	・客の反応には変化がなく、良いとも悪いともいえない状態である。
		通信会社(役員)	販売量の動き	・当社サービスにおける新規客の獲得に苦戦が続いている。さらに、電子機器等の仕入価格の値上げも続いている状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、施設利用客に再び自粛傾向が出てきている。また、スタッフにおける新型コロナウイルスへの感染や濃厚接触者認定で現場離脱が頻繁に起き、スクールのクローズやスタッフ派遣を縮小せざるを得ない状況が続いている。その分の売上が減少するため大変厳しい状況である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が1000人を超える日が続いているが、客はこの状況に慣れてしまったのか、来客数は落ち込んでいない。
		一般小売店〔事務用品〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、来客数が減少している。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・前年はまん延防止等重点措置が適用されていたため比較しにくいだが、8月11～16日のお盆期間中は、帰省客による土産の購入や家族の集いの準備などの需要が伸び、食品やレストランを中心に売上が前年を5～10%上回った。また、帰省用の寝具等も新型コロナウイルス感染症発生前の2019年に近い売上となった。しかし、お盆明けは新型コロナウイルス感染症が拡大するにつれ、来客数、売上共に高齢者を中心に鈍化傾向にある。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加と猛暑の影響が、セール後の7月末頃から来客数がやや減少している。また、大雨など災害の多発も悪化の一因とみている。今年の夏休みは外出制限がないため旅行需要を期待したが、外出や帰省した客による購買行動は食品などの土産以外にはつながらず、大きな増加にはならない。しかし、新しい物への反応はあり、新鮮な物や目新しい物には購買行動を起こす傾向がみられる。
		スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・値上げによる買上点数の減少が顕著である。値上げした商品群の買上点数が特に悪化している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大と猛暑が重なり、来客数に影響が出ている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症や、水害等の自然災害が頻発し消費マインドが落ちている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・現在も新車生産の遅れが続いている。本来なら新型車のモデルチェンジ展示会が行われ来店客でにぎわはずが、実車が店頭には並ばず寂しいショールームとなっている。納期の長期化が定着して客の購買意欲にも影響が出ており、商談も盛り上がらない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前はまん延防止等重点措置が解除された直後で、5月は過去7年間で最高の来客数であったことから、当月は5月と比べると厳しい状況が続いている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加しているため、非常に厳しい月となっている。付近の店舗も閉店時間が以前より早くなっており、当店の常連客に電話で案内をしても、身辺で新型コロナウイルスへの感染者が出ているため外出を自粛しているという返事が多く、大変悪い状態である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が第7波に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が連日2000人前後で推移している。行動制限はないが週末の観光客は若干減少しており、夜の繁華街の人出もやや減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・お盆が明けてから、夜の繁華街は以前より更に静かになっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品の発売待ちや半導体不足による在庫不足で、販売数が伸び悩んでいる。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・通信サービスは新規契約の獲得が順調で、契約者数が前年同月を上回っているが、放送サービスは前年同月を下回っている。また、解約数が前年より増加している。
		テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の拡大と新規感染者数の高止まりにより、行動制限はないものの、全体的に人の動きが鈍くなりつつある。さらに、エネルギー価格を始めとした物価上昇の影響もあり、景気は悪い状態にあると考える。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・客の予算が厳しくなっており、所得水準が高くて高 高級路線ではなく中級クラスの商品を選択する場 が多い。また、イベントの来場者数も減少しており、 厳しい状況が続く気配である。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・建築資材の高騰による住宅価格の上昇だけでなく、 食品や生活用品を含めた物価上昇の影響で客は様子 見の状況であり、消費者の購入意欲の減少を感じる。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・建築資材の価格が安定しない。
		住宅販売会社 (営業)	来客数の動き	・悪天候の影響もあるため一概にはいえないが、展 示場の来場者数の低迷が続いている。前年比で8割程 度の状態が続く、7月は更に落ち込んでいる。
	×	商店街(代表 者)	お客様の様子	・商店街から高齢者の姿が消えて久しい。客の購買 意欲は薄れ、買物は必要最低限のものだけである。
	×	商店街(代表 者)	来客数の動き	・ウィズコロナの新しい時代に入り、新型コロナウ イルスの新規感染者数が急増するなかでも人通りの 激減は避けられた。しかし、お盆の繁忙時に天候に 恵まれず、特急列車の運行が休止したりしたため、 売上が伸びず、客層の中心が若年層やファミリー層 であるため、買上単価の平均も低くなっている。
	×	スーパー(店舗 管理)	販売量の動き	・値上げの影響を考慮しても、来客数に対して買上 点数が少ない状態である。ついで買いが確実に減 少している。
	×	コンビニ(店舗 管理)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症のまん延に加え、お盆 期間には豪雨で高速道路が通行止めとなり、繁忙 期の帰省客需要は大きなダメージを受けている。
	×	家電量販店(店 長)	販売量の動き	・豪雨などにより客足が遠のき、夏物家電も売上 不振となっている。
	×	住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・生活用品や食品、原油などの値上げに加え、新 型コロナウイルス感染症第7波による感染拡大が影 響している。さらに、夏休みが重なり、支出が旅 行や外食産業へ向いていることも販売量が悪くな っている要因として考えられる。
	×	その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の拡大やその長期化、 物価の上昇、円安など様々な要因が絡んで最悪の 状態になっている。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症第7波により、宴会 のキャンセルが出ている。レストランの来客数も 減少しているが、これはメニューの値上げも影響 していると考えられる。
	×	旅行代理店(従 業員)	お客様の様子	・団体旅行客のキャンセルが続出している。
企業 動向 関連	-	-	-	-
(北陸)		金融業(融資担 当)	それ以外	・行動制限がない夏休みでイベントや観光が活 発化し、繁華街やショッピングモールも人出が かなり増加している。
		税理士(所長)	取引先の様子	・建築業は少し厳しくなってきたが、土木工 事や設備工事等を含めて建設関係は需要が安 定しており、問題は材料の調達だけである。製 造業は困難だった材料の調達が回復してきた ようである。経営者は潜在的な受注は多いと いう手応えを持っており、製造業や工 業では、景気は間違いなく上昇傾向にあると 考える。
		化学工業(総務 担当)	受注量や販売 量の動き	・現在の受注は変わらずに推移している。
		プラスチック製 品製造業(企画 担当)	受注量や販売 量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大に加え、半 導体不足やウクライナ情勢の長期化に伴う供 給制限、物流費や原材料費などの高騰の影 響が大きく、引き続き厳しい状況が続いて いる。
		精密機械器具製 造業(財務担 当)	受注量や販売 量の動き	・6～7月は受注量がやや上向きになったが、 8月はまた下向きになり、3か月前と同じ水 準に戻っている。
		輸送業(役員)	受注量や販売 量の動き	・燃料サーチャージへの対応や、基本運賃の 交渉が厳しい状態である。
		輸送業(管理会 計担当)	受注量や販売 量の動き	・7月は物量が減少気味であったが8月は回 復傾向にある。しかし、本格的な回復には 至っていない。
		通信業(営業)	受注量や販売 量の動き	・現在のIT関連補助金等施策は働き方関 連のソフトが対象となっており、ハード商 材の補助金がほとんどないため売上が上 がらない状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者からも、良い話は聞くことができない。
		司法書士	取引先の様子	・取引先における建設業許可の工事高をみると前年より増加しているが、新規案件は建築費高騰の影響のせいか、件数が少ないようである。
		食料品製造業（経営企画）	それ以外	・原材料や包装資材、設備関係を始めコストアップ要因だらけで、製品の原価が上昇し続けている。販売量は何とか維持できているが、製品価格の値上げなくして、経営は成り立たなくなってきた。
		繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は引き続き堅調であるが、原材料価格の高騰に拍車がかかっており、収益環境が一層厳しくなっている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は堅調に推移しているが、資材が高騰する一方で販売価格を十分に上げることができず、利益率を悪化させている。
		建設業（経営者）	それ以外	・今年6月に終了した前期決算は、過去最高の売上と高利益を上げた。しかし、現状は不採算の大型工事を抱えており、今期は役員ボーナスが無支給になる可能性が出ている。
	x	-	-	-
雇用 関連 (北陸)		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症と、ウクライナ侵攻の影響について言及する派遣先企業が少なくなっている。また、物流関係の企業を中心に求人依頼が増加している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にあり、雇用機会が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	それ以外	・イベントが開催されるようになり、活気が出てきたようにみえる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数に大きな違いはみられない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・半導体不足の影響により自動車ディーラーの広告は延期が続いているため不安定な印象を受ける。一方で新型コロナウイルス感染症は収束する気配がないにもかかわらず、イベントの中止は少なうにぎわい創出事業も回復してきている。不動産広告などは復調しており、トータルでは横ばいといったところである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月と比べて増加が続いていたが、8月の求人数は前年同月とほぼ同数である。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症第7波で新規感染者数の増加が続き、求人の動きが鈍化している。
		x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染は拡大傾向にあるが、行動制限がないため人流が活発になり、来客数、購買量共に前年比で2けた増となった。富裕層向けでは、特選品や海外高級既製服、時計や美術品が好調を維持している。また、国内の中間層向けの婦人服や雑貨などで、セール商材よりも秋冬を意識した定価商材が大きく伸び、売上が底上げされている。食品部門でも、価格が上昇気味の生鮮3品はやや苦戦しているが、ギフト品の解体販売といった、価格訴求型の催事は好調に推移している。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が依然として増えているものの、来客数も前年を上回っている。また、富裕層を中心とした外商客による、宝飾品や時計、スーパーブランドの商品の購買は更に増えている。
		百貨店（販売推進担当）	来客数の動き	・今年の夏休みは子供向けイベントも復活し、家族での来店が増えるとともに、滞在時間も長くなり、にぎわいが戻ってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（服飾品担当）	お客様の様子	・8月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が毎日報じられているが、気温の上昇が続くなか、UV関連商材の動きが活発化し、帽子やサングラスなどの売上が大きく伸びている。また、富裕層の消費意欲は依然として高く、時計や高額な宝飾品の動きも良い。同じくラグジュアリー関連のバッグも、いわゆる中間層の憧れ消費が好調を維持している。一方、食品や一般の中間価格帯の商材は、月前半はやや回復したが、中盤からは伸びが少なく、しばらくはこの傾向が続きそうである。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波が少し落ち着きつつあるため、やや良くなっている。まだ新型コロナウイルス感染症の影響が少なからず続くなか、客のニーズに合った商品は以前と変わらないか、それ以上の販売量となっている。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景況感はいのイメージであるが、原料価格の高騰による値上げ前のまとめ買いがみられる。外食から内食へのシフトが固まりつつあるなかで、秋以降の値上げラッシュを見据えた購入の動きから、直近の販売量だけをみれば増加傾向にある。
		コンビニ（店員）	販売量の動き	・新規客が少しずつ増えている。販売量も客単価も上向いており、特に若い世代による消費が増えている。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・お盆休み中は、レジャーなどに出掛ける前に、飲料水や軽食などを大量に購入する客が多い。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・徐々にではあるが、半導体不足の影響が緩和され、自動車の生産が回復している。
		その他専門店 [ドラッグストア]（店員）	販売量の動き	・1人当たりの客単価が上がっており、お盆の前は売上も相当良かった。特に、化粧品の売上の好調が目立っている。
		その他専門店 [医薬品]（管理担当）	販売量の動き	・買上点数、客単価共に改善傾向にある。内服薬や健康食品、化粧品の販売は堅調で、来客数も少し増えている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、7月末頃から当日や前日のキャンセルは増えているが、予約は入っている。
		都市型ホテル（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増えているが、客室の稼働率は前月並みの約60%となる見込みである。販売価格は5～6月と比べて約10%上昇しており、傾向としてはやや上向いている。一方、レストランの来客数は、ほとんど変わっていない。
		都市型ホテル（フロント）	来客数の動き	・大阪、京都エリアの客室稼働率は低いが、リゾートエリアの稼働率は非常に高い。
		都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・行動制限のないウィズコロナ時代に入り、特に週末の人流は増加している。Go To Travelの再開までの、県民割などの実施効果が出ている。
		都市型ホテル（販促担当）	来客数の動き	・今月の客室稼働率は前年比で36.2%上昇し、客単価も2096円上がった。さらに、料飲部門の売上も782万円増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・入出がかなり戻っており、売上は2019年比で80%程度の推移となっている。
		一般小売店 [時計]（経営者）	来客数の動き	・月初めから中旬過ぎまでは来客数が少なく、全く売上が伸びていない。3年ぶりに行動制限のない夏となり、帰省や行楽の方に人が流れた。月後半は修理の依頼で少し売上が増えたが、全体としては厳しい状況となっている。
		一般小売店 [事務用品]（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の収束時期など見通せるはずもなく、コロナ禍の特需というべき商材も一通り行き渡ったため、需要は冷えたままである。
		一般小売店 [衣服]（経営者）	販売量の動き	・来客数の減少に伴い、販売量が減っている。ただし、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による影響は、以前ほど感じられない。
		一般小売店 [野菜]（店長）	お客様の様子	・価格に敏感な客が多くなり、価格が上がるとなかなか売れない。
		一般小売店 [呉服]（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大で、来店を警戒する客が増えたが、少しずつ高額品を購入する客も出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は新型コロナウイルスの感染第7波の影響もあり、売上目標には届かない見込みである。依然として、ラグジュアリーブランドや宝飾品、時計といった富裕層向け商品は好調であるものの、中間層を対象としたボリューム商品は苦戦している。また、百貨店の主要客層である60代の来店頻度が減少している。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・7月には売上が増加し、このまま回復すると感じたが、新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加し、売上は低迷している。春先と同じ状態に戻ったように感じている。
		百貨店（売場主任）	それ以外	・郊外店である当店の従業員や家族に、新型コロナウイルスの感染が広がり、人員体制に問題が出ている。客の声からも、店舗周辺での感染の拡大が感じられた。一方、来客数は前年比で10%増加とやや持ち直し、売上も同様に10%増えたが、2019年の水準にはまだ届かない。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大以降、主要客である年配層の来店が回復していない。
		百貨店（特選品担当）	お客様の様子	・客の間で外出意欲が高まり、来客数は前年比で2けた以上の増加となっている。ただし、来客数以上の売上の増加はみられず、高額商品の動きやファッションを先取りした買物も余り見られない。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も、売上や来客数の前年比は約30%のプラスで推移しており、海外の高級ブランド商品が相変わらず好調に動いている。
		百貨店（売場マネージャー）	お客様の様子	・来客数は、前年が緊急事態宣言の発出で落ち込んだため、今月の後半以降は増加傾向にある。ただし、新型コロナウイルスの感染状況が改善しないことから、十分に戻っているとは言い難い。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の拡大が続いている影響で、販売員の感染者が増え、店舗の閉鎖といった悪影響が出ている。その一方で、好調な売場も多くみられる。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・今月の来客数は、帰省客や観光客の増加により、3か月前よりも7～8%増えている。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、売上の状況は良くない。特に、60歳以上のシニア層の来店が減少している。
		百貨店（営業推進担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりし、従業員の感染により一部で営業できない店舗も出ている。ただし、高額品の売行きは継続的に2019年の水準を上回っている。
		スーパー（経営者）	それ以外	・値上げの更なる拡大で、少しでも安い店で買おうとする客が増えている。新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、従業員に濃厚接触者や感染者が急増し、人繰りに支障が出ている店もある。生鮮品を中心に、人手の掛かる売場で品切れや欠品を起し、売上に響いている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・今年の夏休みは人の動きが活発になると予想していたが、前年よりも動きはあったものの、全体的に控えめであったと感じる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・前年と比べて、食品の1人当たり買上点数が落ちている。この流れは6月から続いているが、大幅な価格の上昇がない限り、今のペースで落ち着くと予想される。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・ぐくに行動制限のない夏休みを迎え、お盆期間は外出や帰省が増えるとの予測もあったが、売上は前年並みである。新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、都心の人出は若干抑えられた。しばらくは同じような傾向が続くと予想される。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・お中元の繁忙期は販売量が増えたものの、お盆明けに新型コロナウイルスの感染が広がり、飲食関連の販売量が減っている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えたことで、近隣で働く人の数が減ったと感じる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・例年、お盆明けは売上が7～8%増えていたが、今年は1～2%しか増えていない。テレワークの関係で一斉に休みをとる動きが減っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(店長)	お客様の様子	・ここ数か月、乗客数や買上点数などに余り変化はみられない。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるなか、客の動きが活発になっているとは感じるが、右上がりではなく、トータルでは横ばいである。
		コンビニ(店員)	来客数の動き	・コロナ禍は拡大しているが、客の動きは変わらない。
		コンビニ(店員)	お客様の様子	・夏休みでもあり、家族連れが目立つなど、新型コロナウイルスの感染拡大による影響はほとんど感じられない。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・この2～3か月と比べて、多少は単価の高い物が売れている部分はあるが、販売量や来客数、特に新規の客数などは、いまだに下げ止まったままである。また、円安などの影響も受けて原価が高騰し、販売価格に転嫁せざるを得ない状況となっている。
		家電量販店(営業担当)	単価の動き	・相変わらず値上げが止まらない。
		家電量販店(人事担当)	販売量の動き	・暦の上では秋になっても、気温の高い状態が続いており、お盆を過ぎてもエアコンの買換えが続いている。ただし、猛暑の影響で外出を避けているせいか、来客数は前年よりも減っている。
		乗用車販売店(販売担当)	来客数の動き	・一定の来客はみられるが、半導体不足の影響などで納車が遅れ気味である。状況は良くなっていると思いたい、よく分からない。
		その他専門店[ガソリンスタンド](経理担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響はあるが、行動制限がないお盆期間のガソリンの販売量は、堅調に推移している。公共交通機関の利用を避けて、マイカーでの移動が増えた影響も大きい。
		その他専門店[宝飾品](販売担当)	お客様の様子	・円安の傾向は止まらず、新型コロナウイルスの感染第7波も拡大している。外出の自粛要請のないなか、感染症対策に気を使いながらの買物が予想されるが、まずは飲食や旅行などの回復が先となる。
		その他小売[インターネット通販](企画担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大もあり、高齢者を中心に来客数が減少している。
		その他小売[インターネット通販](オペレーター)	販売量の動き	・新しいカタログが発刊されたが、例年よりも受注が多く、受電が追い付かない。
		一般レストラン(店主)	お客様の様子	・若年層の客は多いが、客単価が低い。また、新型コロナウイルスの新規感染者数も増えている。
		その他飲食[自動販売機(飲料)](管理担当)	販売量の動き	・自動販売機を撤去する、一時の流れが落ち着いてきている。
		観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・大阪府からの客が半数を占める当館にとって、府民割が中断されているため、来客数が伸びない。
		都市型ホテル(管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波により、お盆以降は来客数が減少している。行動制限はないが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、自粛の動きが広がっている。
		旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・入国基準の緩和を進めない限り、観光産業に光はみえない。
		旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・前月は、客の申込状況が2019年比で80%程度に戻ったものの、新型コロナウイルスの感染第7波の影響が大きく、旅行者本人の感染によるキャンセルが続いた。ただし、感染以外でのキャンセルはなくなっているため、業況としては変わらない。
		旅行代理店(役員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者だけでなく、濃厚接触者が増えることでキャンセルが続いている。来客数は伸びているものの、一進一退の状況である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・暑さや夏休みに入った影響で、昼間の乗客数は増加している。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・3か月前と契約者数は変わらず、大きな増減がない。テレビの契約は微減であるが、インターネットの契約は微増となっている。
		競輪場(職員)	単価の動き	・3か月前の客単価は9581円で、今月は9640円の見込みである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりするなか、高齢者による外出の自粛ムードは続いている。
		美容室（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが多いが、空いた枠には他の客が入るため、良くも悪くもない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・積極的に消費が増えているとは感じられない。広告などによる問合せも増えておらず、逆に減少していると感じる。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・新築分譲マンションの価格上昇が続いているにもかかわらず、契約率は落ちていない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場への出展企業の契約件数は、前年比で変化がない。コロナ禍によってイベント目当ての客が減少し、実際に家を建てる客が定期的に訪れるようになってきている。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・卸売先への納品量のほか、直営店の来客数が減少している。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	来客数の動き	・商品の値上げやコロナ禍の拡大で、来客数の減少が顕著である。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・お中元商戦が終わって、ギフト需要の動きが急に止まり、売上の減少に直結している。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波や猛暑により、例年は増加する、お盆休みを中心とした観光需要が減っている。来客数、販売量共に、予想を下回る動きとなっている。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数はまだまだ多いが、来客数自体は前年よりも上向いている。7月の3連休時と比べて、感染症対策をしていけば出掛けてもよいという、半分諦めのような雰囲気を感じる。ただし、生活必需品の相次ぐ値上げにより、買物自体は増えていない。売上が増えているのは、海外ブランドの特選洋品くらいである。
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・以前ほどの影響はないが、新型コロナウイルスの新規感染者数の爆発的な増加により、来客数は減少傾向にある。特に年代の高い層は、来店しても目的買いのみで、店の滞在時間も短い。さらに、物価上昇の影響についても、生鮮食品などでは客単価の低下がみられる。
		百貨店（宣伝担当）	お客様の様子	・7月中旬からの新型コロナウイルスの感染第7波以降、行動制限はないものの、来客数が減少している。特に、百貨店の主要客である高齢者と、平日の会社帰りの客による来店が極端に落ちた。円安や物価の上昇による影響とあいまって、客の財布のひもがますます固くなっている。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・お盆までは来客数が多かったが、新型コロナウイルスの感染第7波の影響もあり、8月中旬以降は来客数が減っている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・食品を中心に値上げの影響があり、客の商品の買い方がシビアになっている。通常は広告を入れると、お買い得商品のほかに定番商品も売れるが、最近はお買い得商品だけを買う客が増えている。1人当たりの買上点数も落ちている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・買上点数が減ってきている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・行動制限はないが、コロナ禍の拡大で、高齢者を中心に自主的な行動の抑制が進んでいる。物価の上昇とのダブルパンチで、来客数や消費額が減少している。
		スーパー（店員）	単価の動き	・猛暑や生産地での降雨により、野菜や果物価格の高騰のほか、商品の大きさや色、生育状況にも影響が出たため、販売は厳しい状況である。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・来客数は前年比で94%と微減の傾向であるが、売上は前年比80%台の推移とかなり厳しい。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・原料価格や製品価格の全体的な値上げにより、一部で販売点数の減少といった影響が出ている。原価の上昇分をそのまま転嫁することは難しく、粗利益にも影響が出ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（社員）	来客数の動き	・多くの商品が値上げとなったこともあり、客単価は堅調であるが、約8割の店舗で来客数が前年を下回っており、売上の減少が続いている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で、在宅勤務が増加したほか、近隣のホテルでもキャンセルが多発したこともあり、来客数は低調な推移となっている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響があり、来客数が減少している。特に、土日の来客数が前年比で70%と低調である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染リスクを回避するため、引き続き来客数が少ない。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	販売量の動き	・消費財の価格の上昇だけが目立っている。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染対策も解除となり、商店街に客足が戻ると予想していたが、来客数の減少は止まらず、閑古鳥が鳴いている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響が大きく、例年のようなお盆や夏休みに伴う予約が、ほとんど入っていない。
		一般レストラン（企画）	販売量の動き	・売上の前年比は6%の減少と、ここ3か月は毎月下がり続けている。今月については、2019年比でもマイナスとなる水準に低下している。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・7月20日以降の新型コロナウイルスの感染急拡大に反比例するかのようになり、来客数が減少している。お盆の期間は一時的に増えたものの、それ以降はランチ、ディナー共に来客数が伸び悩み、企業の宴会利用にも回復の兆しがみえない。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・今年は行動規制のない夏休みとなったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、盛り上がりは全くみられなかった。府民割や県民割も延長になったが、新規の予約は少なく、予約の増加にはつなげていない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・街の活気がなく、日に日に寂れている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増により、お盆明けから少しずつ、夜の客の動きが鈍くなっている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・社員の間で新型コロナウイルスの感染が増えて、人手が確保できず、やむなく休業となる店舗もある。市場価格も混乱するなか、価格面で踏み込まなければ他店に対抗できず、それに伴って利益の確保が難しくなる。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・地方経済は相変わらず停滞している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・やはり新型コロナウイルスの感染第7波の影響は大きく、来場者の落ち込みが響いている。特に、お盆以降は大きなイベントもなく、来場者は減少傾向となっている。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・相変わらず、住宅建材関係の値上げが続いている。
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の拡大に伴い、以前よりも契約までに時間が掛かっている。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響が、社員の間にも出ている。お盆休み前後で、実際に感染した社員や家族、濃厚接触者となった社員が5人出た。感染者はルールに基づいて10日間の自宅待機となり、業務に支障が出ている。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・マンション、戸建て住宅共に、分譲価格の上昇による販売の鈍化がみられる。土地の仕入価格の上昇に加え、資材価格や建築費の高騰の影響は大きく、購入マインドの低下が心配である。
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・円安の影響のほか、特選プティックの値上げ前の駆け込み需要があり、免税売上は大きく伸びている。また、外商売上も引き続き増加がみられるが、新型コロナウイルスの感染拡大により、外商を除く国内売上は厳しくなりつつある。今のところは、免税売上の増加で国内売上のマイナスはカバーできている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている影響で、来客数が激減している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・お盆を過ぎると来客数が減少した。新型コロナウイルスの感染拡大の影響や、季節的な動きもあるが、経営が成り立たない。
	x	家電量販店(店員)	競争相手の様子	・広告の掲載価格の引下げが進んでいるが、客が問い合わせると更なる値引きを提示し、契約を結ぼうとする動きもある。これは訪問販売に限らず、地元の販売会社でも多数見受けられる。同じ店舗の見積りで、2週間前とは全く異なる金額が提示されている。それなりに地域シェアの大きい企業が、客の信頼をなくしてまで値引きを行う必要があるのかと感じる。
	x	家電量販店(企画担当)	来客数の動き	・夏物商戦の代表的な商品である、エアコンの販売量が伸びていない。また、半導体不足による在庫の不足も、購買意欲の低下につながっている。
	x	住関連専門店(店長)	単価の動き	・売れ筋商品の価格帯が1けた下がっている。10万円の商品を買っていた購買層が3万円の物を買ひ、1万円の商品を買っていた人が5000円以下の物を買うという状況である。
	x	その他専門店 [食品](経営者)	販売量の動き	・7月前半までは売上が徐々に回復しつつあったが、新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で、外出の自粛傾向が進み、前年並みの売上に再び戻ってきている。
	x	その他専門店 [宝石](経営者)	お客様の様子	・あらゆる物価の上昇により、消費意欲が減少している。
	x	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・お盆にはテイクアウトの注文がよく入ったが、今年では行動制限がないため、旅行や帰省の動きが増えたようで、来客数が減少した。特に、高齢者は新型コロナウイルスへの感染を避けて、自主的に自粛を行う人が多い。
	x	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設](企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、5月にはみられた中高年層の旅行客が減少している。
	x	美容室(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、客やその家族に感染者が出ており、予約のキャンセルが増えている。非常に厳しい状況である。
企業 動向 関連 (近畿)	-	-	-	-
		出版・印刷・同 関連産業(企画 営業担当)	受注量や販売量 の動き	・イベントや催事の企画が実行されるようになり、問合せ件数が増えている。
		化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・受注量は確実に好転しているが、販売価格の上昇が原材料の値上げに追い付いていない。売上は増えても、利益は減るという状況で、現状が良いとは言え切れない。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス感染症の発生前と比べれば低調であるが、数か月前との比較では、少なくとも下降や横ばいではなく、上昇傾向にある。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年を上回っている。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・コロナ禍以降、交通関連の広告の動きは悪化が続いていたが、8月以降は少し戻りつつある。
		食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・お盆期間中は多くの人の流れが感じられたが、外食関連の消費は少なく、飲料水の売上は余り変わらない。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・お盆休みが明けてからは、受注量が増えていない。材料や資材の価格が再び値上げとなるため、今後は厳しくなる。
		化学工業(管理 担当)	受注量や販売量 の動き	・4月以降、自動車の減産で電装部品関連の出荷量が落ち込んだままであり、建設資材関連の出荷量も低迷している。さらに、主原料である化学品の価格も高騰しているため、利益率が大幅に低下している。
	窯業・土石製品 製造業(管理担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・原材料費や燃料費などの高騰で、当社も取引先に対して製品の値上げを依頼している。その一方、取引先からも多くの値上げを要請されているのが実情である。新型コロナウイルスの新規感染者数は増えているが、政府の方針は経済を回すことが優先であり、受注が大きく落ち込むことはないため、しばらくは静観を続けたい。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・とにかくハーネスやコネクターなどの電子部品の入手に苦労している。取引先の購買意欲は改善しており、見積依頼は増えているが、こちらから断るケースが続出している。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・8月中旬頃までは、気温の高さからエアコンが市場をけん引していると感じたが、気温が落ち着いてきた4週目以降は、実売が鈍化傾向にある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・部品の納期が遅れているため、受注や売上に支障が出ている。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・建設資材価格の高騰や納期の不安定化により、設備投資の計画予算と実態の乖離が進み、新築工事の延期や凍結が増えている。改修工事については、部分的な中止や縮小などで対応し、何とか動いている。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先への訪問時の会話では、新型コロナウイルスの感染第7波の到来で消費が停滞しているため、売上がなかなか増えないという話が多い。
		金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・材料費が大幅に上昇しており、9月からの価格の見直しが必要となる。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・コロナ禍の収束時期が見通せないほか、物価の上昇も顕著で、特にガソリンや電気、ガスの価格上昇は経済全体への打撃となる。このような状況で消費マインドが回復するはずもなく、むしろ消費の抑制や節約に向かい、とても景気が上向く状況ではない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先の飲食店に客が戻らない。地元の商店街では、ここへきて見切りをつけた大手企業の撤退が目立つ。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく、値上げも相次ぎ、客の事業は停滞している。良くなる要素は見当たらない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・コロナ禍関連の規制は解除されているが、前向きな動きができていない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・納期遅れの問題は解消されつつあるが、原材料価格の上昇で、値上げせざるを得ない状況である。
		食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・業務用の製品は上向いているが、家庭用は苦戦している。原材料や資材が値上がりするなか、業務用製品は少しずつ値上げできているが、家庭用は競争もあって苦戦している。
		繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、受注が減っている。また、メーカーの社内でも新型コロナウイルスへの感染が増えており、生産能力が下がっている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ベースの仕事はあるものの、追加の受注が見込めない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車産業を中心に荷動きが全体的に悪く、自動車関連の生産量が計画よりも大きく落ち込んでいる。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月頃までは、問合せや売上が好調であったが、8月に入り、問合せも少なくなっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物価の上昇による影響が、見積価格にはっきりと表れている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月に入って荷物の動きが落ち込んでいる。また、全ての経費が上昇し、普通の仕事では採算が取れない状況である。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月までは、久しぶりに行動制限のない夏に向けて、堅調な販売が続いてきた。今月は、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加とともに、多くの人の行動が慎重となり、小売店での販売にも影が広がっている。
	×	金属製品製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・コスト上昇分の価格転嫁が進まず、急激に採算が悪化している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多くの資材の価格が、当たり前のように値上がりしている。この傾向が短期間で終わることを願っているが、先行きには心配している。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	受注量や販売量の動き	・商品の値上げ率の高さが目立つ。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしており、衣料品の購買意欲も上がらず、外食も控えるような状況が続いている。それに伴って、店舗の空室率が上がり、賃料も下がるなど、景気は悪くなっている。
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人数は引き続き好調であるが、求職者数が減ってきており、求人案件とのマッチングが難しくなっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・技術者不足に拍車が掛かっており、今後もしばらくは続きそうである。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・依然として、求人にあった人材が見つかりにくい。
		その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・有効求人倍率が直近2か月で大きく改善しており、コロナ禍における最高の伸びを記録した。また、新型コロナウイルスの感染第7波の下でも、求人は力強く、製造業や宿泊・飲食サービス業を中心に堅調な推移が続いている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今年の夏は、今までとは違う動きとなっている。新型コロナウイルス感染症の影響で、企業によってはかなりの感染者が出ているため、急な穴埋めの人材を一時的に雇用するケースが散見される。コールセンターや人海戦術的な業務では、年齢にこだわらず人をどんどん集めている。その反動で、その他の案件では人が集めにくくなっている。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・求人数は引き続き底堅い状況である。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人数は新型コロナウイルス感染症の発生前に戻っているが、求職者は前年の半分程度である。仕事内容にもよるが、転職の動きには慎重さがみられる。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・求人数がやや増え始めていたが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、停滞している。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大は続いているが、行動制限はされていない。それに伴い、これまで影響を受けてきた業種の求人数も、新聞の求人に変化はない。一方、多くの消費者は自らの判断で行動を自粛しており、景気の盛り上がりはないものの、落ち込みもみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比で微減となった。前月は求人数が大幅に増加したが、今月は初旬から求人数の伸びがみられなかった。業種別では、飲食業が前年比で63.1%減少し、特にフルタイムの求人が81.0%の減少と大きく落ち込んだ。これは、前年に求人が増えたチェーン展開の外食店が、県外に本社を移転させた影響である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増が心配である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求職者数の動き	・23年卒の新卒採用では、間もなく内定式を迎えることもあり、企業の採用選考もほぼ最終段階にきている。一方、求職側の学生の動きは鈍い。就職活動を終えた学生も多いが、継続中の学生も多く、内定を維持しながら、より良い条件の企業を選んでるように感じる。全体として求人と求職者数のバランスが悪く、売手市場の傾向が戻ってきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・医療職の採用は、コロナ禍で動きが鈍いようである。ただし、大学のオープンキャンパスへの参加者の様子を見てみると、看護職などの医療職の希望者はそれほど減っていない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・物価の上昇や円安の進行が止まらず、3か月前と比べても悪くなっていると感じる。コロナ禍やウクライナ危機といった特殊事情はあるものの、何も具体的な対策を打たないままでは、景気は悪くなる一方である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・関西での新聞広告の推移をみると、前年比でも、第1四半期との比較でも、実績はマイナスとなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月は宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス・娯楽業の求人数が大幅に増加した。3年ぶりの祭りや行動制限のない夏休みの影響で、新規求人数が増えている。ただし、前年の10月以降、新規求人数は2けた増が続いていたが、前月は1けた増にとどまり、減少している産業もある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔大学〕 (就職担当)	採用者数の動き	・目標人数を確保できなくても採用活動を終える企業が出てきており、採用が量より質に転換してきたように感じる。
	x	-	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)		*	*	*
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているものの、重症化率が低いため、徐々に従来の状況に戻ってきている。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・高価格でも高品質の商品であれば売れるようになってきている。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数や売上は改善しているが、客単価は減少している。商品の値上げが続く状況で、客の価格に対する姿勢が厳しくなっている。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・高単価商品の販売数が増加している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限がなかったため、お盆の帰省等で、来客数は前年を上回っている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年と比べると、来客数も売上も回復傾向にある。ただし、濃厚接触者認定による従業員出勤制限が解除されないと、従業員不足で営業が困難になる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数が前年を上回る状況が続いている。夏休み期間は観光客やイベント目的で滞在する客の来店が目立っていた。時間帯別では、日中の来客数の増加が目立っており、夕方以降は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、客が外出を控える傾向にある。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、客単価は上昇している。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・8月の販売量は前年比130%となっている。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、販売数に影響はない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・3か月前と比べ、新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増加しているが、ウィズコロナが進んでいるため、人々の行動は思ったほど抑制されていない。一時的に来客数が減少したが、すぐに戻ってきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・8月の第1週は新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、売上が前年を下回った。ただし、夏祭りや花火大会の開催もあり、家族連れや友達同士の利用が増加し、お盆期間は一気に売上が増加している。その後も好調に推移し、売上は新型コロナウイルス発生前の85%くらいまで回復している。
		都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが低いことから、客の旅行機運が高まりつつある。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ウィズコロナで日常の身の回りの活動や購買が通常の状態に戻ってきている。
		放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・利用料の延滞率が低下し、延滞金回収率が改善している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で、店は暇である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・夏のイベントや売出し企画を開催すると、人出が増えるが、普段は余りにぎわっていない。暑さのためか新型コロナウイルス感染症の影響のためか分からないが、日中の気温が高い時間帯は来客数が少ない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・お盆休み以降、全国的に新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加している。従業員からも新規感染者や濃厚接触者が出てきており、スタッフ不足で休業せざるを得なくなっている。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	販売量の動き	・土日に多少、客の動きがあるが、売上にはつながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・値上げや巣籠り需要減少のため、家庭用品、食料品の販売量は前年を下回ったが、服飾雑貨、衣料品、観光土産品が好調だったため、全体では、販売量は前年を5%程度上回っている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、来客数が減少している。また、従業員の感染や濃厚接触認定による人手不足への対応が不十分なため、一部売場では営業時間の短縮や臨時休業も発生しており、来客数や売上が減少している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、平日の来客数は少なかった。お盆時期は来客数や売上が前年を上回ったが、平日のマイナスのカバーはできていない。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているが、全体的な客の動向に大きな変化はなく、ギフト解体セールなど食品催事は好調に推移している。ただし、高齢者の来店が厳しい状況にあるため、高齢者向けの婦人服は販売不振に陥っている。
		百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いても、来客数は変わらない。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円の時計が数本売れたが、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているため、来月どうなるかは予測できない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・食品の値上げ等で客が無駄な買物をしない傾向にあり、客単価は前年比98.4%で推移している。平日の売上は苦戦しているが、週末の売上は前年並みで推移している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・取扱商品の値上げが進んでいるため、特売商品の動きが活発になる一方で、値上げした商品の販売数が減少している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・行動制限がないため、前年と違い、夏休み、外出、帰省で、販売が上向くと予想していたが、新型コロナウイルス感染症や商品の値上げの影響で、伸び悩んでいる状況である。お盆に帰省しても、行楽や外出に流れる傾向があり、おもてなし等の内食需要は伸びていない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・お盆期間中の買物単価が上がらず、売上も上向いていない。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・行動制限もなくなり、お盆休みを中心に来客数は増加しているが、値上げの影響もあり、購買意欲は低下したままである。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・農村地帯、高齢者地域という環境にあるため、なかなか需要が高まらないが、お盆の需要はますますだった。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ここ5か月の来客数、客単価、売上が前年を上回っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・着物を着て歌舞伎を見に行く企画をしたら、客がそのときに着る着物を購入してくれることになった。
		衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症により生活習慣が変化し、客の購買意欲が低下している状況で、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したため、自粛傾向に拍車がかかっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているため、客の動きが良くない。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・台風の影響で前年同期の来客数が少なかったため、今年の方が来客数は多いが、販売にはつながっていない。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数、売上単価、売上がいずれも減少傾向にある。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年と余り変動はないが、仕入価格の高騰で、利益が上がりにくくなっている。
		その他専門店【土産物】（経営者）	お客様の様子	・2019年までは8月が繁忙期であったが、この3年は客の動きが良くなく、売上も伸びていない。花畑を見たら、余り買物をせず帰っている。
		その他小売【ショッピングセンター】（管理担当）	お客様の様子	・土日などの来客数や買上率に大幅な変動はない。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、危機感はあるものの、行動規制がないため、客の外出意欲はそれほど低下していない。ただ、ついで買いなど余分な出費を行うまでの購買意欲はなく、買上点数などは伸び悩んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行動規制のなかつたお盆は久しぶりに来客数が多くなっている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べると、新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、来客数は以前ほど顕著に減少していない。ただし、本人や同伴者が新型コロナウイルス感染症の陽性者になったり、濃厚接触者になったりして、予約をキャンセルするケースが増加している。
		観光型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・お盆までは宿泊客が多かったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることから、お盆明けから宿泊客が激減している。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・日によって、来客数に大きな違いがあるため、景気が上向きか下向きかが分からない。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増を背景に、予約のキャンセルや新規予約の伸び悩みなど、集客にブレーキが掛かっている。一方で、新型コロナウイルスに関する行動制限がないため、大型ショッピングセンターや駅周辺では人出が増加しており、集客イベント等もちゅうちょなく開催されるなど以前のにぎわいを取り戻している。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・景気は徐々に回復してくると予想していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で来客数に影響が出ており、全国旅行支援も始まらないことから、変化していない。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受け、キャンセルが多数発生し、売上が減少している。また、全国旅行支援も始まらず、環境面にも変化がないことから、景気は上向いていない。
		タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き お客様の様子	・日中、夕方は良いが、夜の利用が少ない。 ・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まっており、人の動きがやや停滞気味ではあるが、以前のような自粛感はなく、この3年で人々が新型コロナウイルス感染症に慣れてきた感じがする。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限がないものの、物価が上昇傾向にあるため、客の消費行動は平行線をたどっている。
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・他社との競争もあるため、インターネットに関しては、現時点では大きな変化がない。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加の影響もあり、景気は良くなっていない。
		テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・政府による経済対策が行われていないため、景気は良くなっていない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・建築物価の上昇や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来客数や引き合いが低調な状況が続いている。
		設計事務所（経営者）	単価の動き	・ウッドショックにより国内全体の木材価格が高騰し、また、直近では、人件費も上昇していて、建築コスト全体に影響が出ている。住宅の仕事量も減少し、景気が良くない状態が続いている。
		住宅販売会社（営業所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、物価高、資材価格の高騰の影響で、客が将来ビジョンを描きにくくなっており、住宅購入をちゅうちょしている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあるが、人出は減少していない。
		商店街（理事）	お客様の様子	・客が新型コロナウイルス感染症に慣れてきて、人出が増えてきている。ただし、商店街では、来客数が増加しても、売上に繋がっていない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数が減少し、商品の購入にも繋がっていない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・様々な物の価格が上昇しているため、客の買い控えが起こっている。物価が上昇しても、自社の商品は値上げしにくいいため、困っている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・来客数や販売量が減少している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前月末から新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、来客数が減少している。また、メーカーからの商品の供給が減少しているため、販売量や売上も減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新し、来客数が減少、客の購買意欲も3か月前と比べると明らかに低下している。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しているものの、行動制限等がないため、内食需要が減少している。また、1品単価は前年を上回っているものの、物価高騰による客の節約で1人当たり買上点数が減少しているため、既存店売上は前年を下回っている。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大と、食品の値上げで来客数が微減している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月も来客数が前年比88%と減少しており、前年を上回る月がほぼなくなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、例年よりも来客数が伸び悩んでいる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、人が街に出てこないため、来客数が減少している。
		高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていないため、予約の伸びが鈍化している。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊客については3か月前と比べ改善しているが、レストランの来客数が、3か月前と比べ少なくなっている。新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、過去最大の感染者数などの報道がほぼ毎日あり、客が外食しようとする意欲が低下している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新学期が始まる9月になると、客が子供に新型コロナウイルス感染症の影響が出ないか心配するため、旅行業にはマイナスとなる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3か月前と比べ、夜の街はにぎわっていない。お盆もイベントが開催されず、寂しい状況だった。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・8月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、コンペのキャンセルが続いている。1組単位の予約も余り伸びがないため、入場者は減少傾向にある。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・G3競走やお盆レースで売上が確保できたが、3か月前のSG競走の売上は下回っている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、年配の客が全く来なくなっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にあり、客の意思決定までの期間も長くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・度重なる原価高騰で、販売価格を引き上げざるを得ないことから、客に買い控えの雰囲気が見受けられる。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・お盆の時期に多少観光客が増加したが、例年ほどではなく、地元の消費者の動きも極めて悪い。
	×	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・商品の値上げが、まだまだ続く。
	×	乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・メンテナンス等で追加整備が必要になっても、客が最低限の整備しかしなくなっている。
	×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・4月の値上げ以降、客の消費意欲が低迷している。海外製の低価格商品が売れている状況である。政府のコロナ禍での経済推進や海外観光客の制限緩和は理解できるが、地方の地元店舗営業での個人消費が上がるようにプレミアム付商品券等の検討もしてほしい。何はともあれ、外国人観光客の消費に頼らないよう、人口増加への取組を早急に行わないと、景気の回復は難しい。
	×	住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・来客数がこの半年で一番少なくなっている。
	×	その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・所得格差が発生しており、購買者が限定しているため、結果として売上が減少している。購入単価もボリュームゾーンがなく、高価格と低価格に分かれている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、人の動きが極端に悪くなっている。また、ウクライナ情勢の影響で、物価が上昇し、景気が悪くなっている。
	×	通信会社（広報担当）	販売量の動き	・様々な品目が値上げしており、販売が減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、半導体の生産も安定しつつあり、繁忙状況にある。
		電気機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・5G関連や半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大しており、売上は増加しているが、部材の調達難や調達コストの影響が大きいため、利益は減益となっている。
		輸送業	受注量や販売量 の動き	・受注が増加し、景気はやや良くなっている。
		農林水産業（従 業員）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数が減少している会社や従業員が感染して休業している会社があり、売行きが良くなっていない。
		繊維工業（財務 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・原材料価格など物価の上昇が仕入価格に反映されている。
		化学工業（総務 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・3か月前と比べ、良くなっている面もあるが、そうでない面もあり、全体では景気は変わっていない。
		窯業・土石製品 製造業（総務経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・鉄鋼業向け大型案件の納期が迫っており、非常に多忙な状況である。ただし、鉄鋼業向け流れ品の注文量は減少している。
		鉄鋼業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・全体的に荷動きが悪く、市況も停滞している。
		建設業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・資機材の納期遅延や価格の高騰がしばらく継続するが、民間の物件では価格転嫁が難しい。また、予定物件についても、工程の見直しなど中止や時期の延期のリスクが高まる。
		輸送業（業務推 進担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限を行わないことで経済活動の維持に努めているが、新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりやウクライナ情勢等が景気に影響を及ぼし続けている。
		輸送業（総務・ 人事担当）	受注量や販売量 の動き	・国内需要に増減がなく、中国向けも含め海外需要にも大幅な増減がないため、景気は変化していない。
		金融業（融資企 画担当）	取引先の様子	・半導体不足などから、地元完成車メーカーの国内生産が通常の6～7割程度に減少した状態が続いている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も大幅な減少が継続し、採算悪化の状態が続いている。
		金融業（貸付担 当）	取引先の様子	・仕入価格が上昇していても、販売価格に転嫁できず、収益が増加しない中小企業が多く見受けられる。
		広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、受注量の減少が続いている。
		会計事務所（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・新規案件は一定量増加しているが、販売やリース部門は、半導体や資材不足から商品や車両の納入が大幅に遅れ、客への納品ができない状況にある。
		食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・異常な暑さ、物価上昇、新型コロナウイルスの感染拡大等により、受注量が5～7%減少し、厳しい状況が続いている。
		木材木製品製造 業（経理担当）	受注量や販売量 の動き	・お盆明けの新型コロナウイルス感染症の更なる拡大による消費の冷え込みや調達資材の高騰などによるコストの上昇が利益を少しずつ圧迫している。
		鉄鋼業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注量の減少傾向が顕著になってきている。
		非鉄金属製造業 （業務担当）	受注量や販売量 の動き	・半導体不足による生産調整やエネルギーコストの高騰が収益を圧迫している。
		金属製品製造業 （総務担当）	受注量や販売量 の動き	・工作機械業界からの受注は高水準にある。ある客先からの引き合いに対し、納期対応できないため、同業他社への発注となった。また、受注が前月より半減している客先もあり、業界内でも差が出ているようである。
	通信業（営業企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・原材料の価格高騰や半導体不足の影響で、ICT関連機器の納期に時間を要しており、計画が後ろ倒しになっている。それに合わせ、受注量などの動きが鈍くなっている。	
	不動産業（総務 担当）	それ以外	・来客数や成約件数が落ち込んでいる。	
	x	*	*	*
雇用 関連		求人情報誌製作 会社（HR担当）	求人数の動き	・採用数の増加を目指す企業や目標とする採用数に至っていない企業が採用を強化しようとする動きがある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(中国)		職業安定所(事業所担当)	求人数の動き	・新規求人数の受理状況をみると、前年比で8.5%の増加、前々年比で2.9%の増加と、過去2年間との比較では回復傾向にある。産業別にみると、製造業、運輸業、金融・保険業、生活関連サービス業、娯楽業、医療福祉介護業など多くの産業が前年比で10%以上増加している。
		民間職業紹介機関(職員)	採用者数の動き	・景気は新型コロナウイルス感染症の発生前の水準までには回復していないものの、9割程度までは戻っているという声も聞かれる。反転攻勢を掛ける企業が増加してきており、人材獲得の動きも出ている。
		民間職業紹介機関(人材紹介・派遣担当)	求職者数の動き	・求職者からの相談件数が前月比170%となっている。
		人材派遣会社(支社長)	採用者数の動き	・売手市場の状況は変わらないが、提案できる人材も不足しているため、就職決定数が伸びていない。
		職業安定所(所長)	求人数の動き	・新規求人数は、新型コロナウイルス感染症の影響が小さい建設業や医療・福祉が前年同月比で5割増加となっており、慢性的な人手不足が続いている。求人全体では1割の増加となっている。
		職業安定所(雇用関連担当)	求職者数の動き	・県内で7月中旬から新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者等の対応で企業見学や選考等の遅れが生じ、7月も応募を希望する求職者数が前年同月比4.9%の減少となっている。また、就職件数も前年同月比7.1%の減少となっている。
		学校[短期大学](進路指導担当)	求人数の動き	・一般企業からの求人数は前年と同程度であり、景気は特に上向きでも下向きでもないと考えられる。
		その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・有効求人倍率は依然として1倍を大きく上回る状況であり、人手不足感がある。
		人材派遣会社(経営戦略担当)	周辺企業の様子	・資源価格の高騰、サプライチェーンの停滞、新型コロナウイルスの感染急拡大の影響で、景気はやや悪くなっている。
		新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、経済活動は通常化しており、以前と比べると活気はある。ただし、原価高騰等で先行き不安を感じる企業が見受けられる。
	x	-	-	-

10. 四国(地域別調査機関:四国経済連合会)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		コンビニ(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するなか、懸念していた売上高、来客数は共に順調であった。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染第7波の新規感染者数はピークを迎えていると思われるが、客は感染対策をしっかりと守りつつ動き出している。感染者の行動自粛期間等の緩和措置により、多少なりとも活発になり始めている。
		スーパー(人事)	お客様の様子	・観光やレジャーの利用が増えていることがプラス効果となっている。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・これまで客単価は上昇していたものの、来客数は横ばいであったが、8月は来客数が増加に転じた。
		コンビニ(総務)	来客数の動き	・コロナ禍で初めて行動制限のないお盆を迎え、人の往来が活発になっている。祭りや帰省、観光でにぎわい、売上が目に見えて伸びた。
		衣料品専門店(営業責任者)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の発生前と比べると厳しい水準だが、まん延防止等重点措置の解除後は徐々に回復しており、前年比130%前後になると見込んでいる。
		観光遊園地(職員)	来客数の動き	・行動制限がなかったことでイベント開催や観光客の増加につながった。
		美容室(営業者)	来客数の動き	・行動制限も無く、お盆期間中はかなり人が動いたと思う。コロナ禍で帰省がかなわなかった人も今年は帰ることができ、当店も来客数が多く多忙であった。
		美容室(営業者)	お客様の様子	・コロナ禍の生活にも慣れてきて、客の行動が活発化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・一部の高額品市場を除いては、リベンジ消費と言えるような強い消費動向を感じる事ができない。行動制限がないにもかかわらず、急激な物価高に対する消費者の生活防衛色が強まり、経済的に余裕のない様子が見て取れる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来店者数は新型コロナウイルス感染症の発生前の水準まで戻っていない。一方で、インターネット注文が増えている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・引き続き、値上げ前の買い回りがみられる。
		スーパー（統括担当）	販売量の動き	・物価が上昇し、商品価格が高騰しているものの、買い控えは特に感じられない。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・メーカーの値上げと販売数量の減少が相殺される形となっている。
		コンビニ（商品担当）	それ以外	・電気代や燃油代の高騰で、販管費がかさんでいる。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向にあることから、来客数が減少している。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くか分からないが、現状は前年と変わっていない。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・購入意欲はあるが、値段を見て見送るケースが増えている。
		家電量販店（副店長）	来客数の動き	・猛暑のなかでも夏物商材の売上が思うほど上がっていない。新型コロナウイルスの第7波の感染拡大以降、年配の方の来店が減ってきている。
		乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・半導体不足等で納期が早くても6か月から1年以上になる車も多数ある。良くも悪くもない状況が続いている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・車の納期が長期化している状況が当たり前になり、受注は落ち着いている。新型車の発表もあるが、納期が確定しないため積極的に受注できない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（総務部担当部長）	販売量の動き	・今年は地元の祭りが開催されたことから、その期間中は売上が好調であった。しかし、その期間を除けば売上に動きはなく、新型コロナウイルス感染症の発生前と比べると売上、来客数共に低い水準にとどまる。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による来客動向が読めない。
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの第7波の新規感染者数が高止まりしており、遊興への行動にブレーキが掛かっている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・建築費の高騰が続いているなかでも、設備投資をする客は増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・コロナ禍では円安と低金利政策だけが零細企業を支えていたが、海外での利上げ政策の影響を受け、国内でも金利上昇の懸念が高まっている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・8月は店頭、外商共に売上が前年を下回っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大によりお盆の帰省客や観光客が少なく、来客数が見込みを下回った。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は上がっているが、それ以上に来客数、来店頻度が落ちている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・生産台数の回復が遅れて登録台数が伸びず、売上に繋がらない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波により、県民割が停止に追い込まれた。特に9月以降の宿泊予約が伸びない。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、個人客に少し動きはあるが、修学旅行以外の団体客の動きは止まっている。
		通信会社（営業部長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数は前月と比べても前年同月と比べても下がっている。従業員にも感染者が増えていることから、営業縮小を図っている。
	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地域では3年ぶりに夏の祭りが開催され、かなりの人出があった。その影響から新型コロナウイルスの新規感染者が爆発的に増え、来店者数が抑えられている。特に飲食店では厳しい状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	一般小売店 [酒] (販売担当)	販売量の動き	・当地域の祭り開催までは飲食店への納品が少しずつ増加していたが、その後は新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で人出が大幅に減少し、売上が減っている。
	x	タクシー運転手	お客様の様子	・当地域では祭りが開催され、県外客も増えて宿泊施設への送迎もあった。しかし、その後は新型コロナウイルスの感染再拡大により夜の街は閑散としており、昼間も良くない。
	x	タクシー運転手	来客数の動き	・例年、夏は遍路客が減少する。また、夜の街へ人が出なくなっていることから乗車率が低下し、売上は厳しい状況にある。
企業 動向 関連 (四国)	-	-	-	-
	-	繊維工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・猛暑が続いたことや全国の観光地に人出があったことなどから夏用のタオルがよく売れている。外国人観光客はまだ戻っていないが、国内の観光地では6~7割程度まで回復している。一般小売店では、多少価格が高くても魅力的な商品を求めており、新型コロナウイルス感染症の収束後に向けて前向きな動きもある。当社では扱っていないコンサート用のタオルやインバウンド向けホテルの需要はまだまだ厳しいようだ。
	-	木材木製品製造業 (営業部長)	受注量や販売量の動き	・受注量は安定して伸びているが、原材料価格の上昇が利益を圧迫している。販売価格の改定交渉を進めているが、原材料価格の上昇が止まらず転嫁が追い付かない状態が続いている。
	-	電気機械器具製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格が高騰するなか、代替品への置き換えが進み、状況は良くなっている。
	-	輸送業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の感染状況は悪化しているが、客はコロナ禍の生活に慣れてきている。
	-	通信業 (企画・売上管理)	受注量や販売量の動き	・行動制限が無いため、夏場のテレビ広告は3か月前と比べて堅調。
	-	金融業 (副支店長)	取引先の様子	・行動規制がなくなったことで観光客が増加し、小売業を中心に景気は回復している。
	-	食料品製造業 (商品統括)	受注価格や販売価格の動き	・価格アップを許容する土壌ができつつある。
	-	化学工業 (所長)	それ以外	・ウクライナ情勢の長期化もあり、依然として実需が増加している感触がない。
	-	一般機械器具製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・半導体不足による調達環境の悪化や原材料価格の高騰、円安の進行に加え、ウクライナ問題などの影響で、状況は厳しさを増している。
	-	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・国土強靱化予算の執行により受注、発注共に堅調に推移しており、本業については現状維持の景況感が継続している。新型コロナウイルスの感染第7波の影響により、業界や社内では行事等の中止や規模縮小がまた生じている。さらに、社員の感染や濃厚接触者数の増加で事業活動への影響も出てきている。
	-	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、官民共に受注が伸びない。
	-	輸送業 (営業)	受注量や販売量の動き	・依然として取扱物量が減少傾向にあり、回復の兆しがみられない。
	-	輸送業 (経理)	受注量や販売量の動き	・お盆前まで荷動きは堅調に推移していたものの、お盆明けは出荷量が落ち着いており、大きな変化はみられない。
	-	通信業 (総務担当)	それ以外	・社外イベント等も順次再開されつつあったが、行動制限のないお盆期間を経て新型コロナウイルスの新規感染者が急増したことに伴い、一時的な自粛傾向が強まると想定される。
	-	税理士事務所	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、再び購買意欲が減少しているように感じられる。また、感染した従業員が増えて仕事に支障が出ているところも多い。
x	農林水産業 (職員)	受注価格や販売価格の動き	・卸売価格は、果実と花木はまずまずのところだが、主力の野菜が大きく低迷しており、園芸品全体では厳しい販売が続いている。特に、順調に出荷が続いている果菜類の価格が低調である。	
x	鉄鋼業 (総務部長)	受注量や販売量の動き	・受注量は前月同様まずまずではあるが、新型コロナウイルスの新規感染者や濃厚接触者の自宅待機が急増していることから、生産販売に多大な影響を受けている。	
雇用 関連	-	-	-	-
	*	*	*	*

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(四国)		民間職業紹介機関(所長)	求人数の動き	・物価上昇や新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は予想以上に回復できていないように感じる。
		人材派遣会社(営業担当)	求人数の動き	・県内で新型コロナウイルス感染者が増え、派遣を依頼する求人数が減ってきている。
		求人情報誌(営業)	求人数の動き	・企業の求人数は横ばいで、その多くで採用には至らず、人手不足感がある。
		新聞社[求人広告](担当者)	それ以外	・燃料費や資材の高騰により仕入額が上昇しつつあるが、価格転嫁は難しい。客の理解は得られるだろうが、買い控えにつながると思う。
		職業安定所(求人開発)	採用者数の動き	・新規求人数、新規求職申込件数、就職件数が前月比で減少している。新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が出ている。
	x	-	-	-

11. 九州(地域別調査機関:公益財団法人九州経済調査協会)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・新型車の市場投入による受注量増加と客の動きが良くなっている。
		住関連専門店(従業員)	単価の動き	・酷暑の影響で来客数は落ち込んでいる。一方、店舗で行う集客催事の業績が良く、単価の動きは好調である。
		観光型ホテル(専務)	来客数の動き	・夏休みは宿泊客が多く、ほとんど家族連れである。今までとは違い、宿泊日間に予約があるため予測が付き、スタッフのシフトを決めることができない。
		商店街(代表者)	単価の動き	・オーダーメイドのノベルティやキャンペーンチラシなどの製造が増加しており、コロナ禍からの経済回復の兆候がみられる。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・コロナ禍であるが、平日午後からの来客数が増加している。
		百貨店(企画担当)	お客様の様子	・旅行や帰省、また、大人数で来店する客が増加し、購入目的が多く見受けられた。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・猛暑と新型コロナウイルス感染症の感染再拡大で慎重な外出姿勢は続いている。しかし、夏祭りや花火大会の開催、店頭でのお中元ギフトや全店での催事開催では、来客数が回復している。オンラインや電話、F a x 利用のギフト通信販売、県下のサテライトショップやギフトショップへの来店は堅調であるが、人混みを避ける慎重な外出姿勢がみられるようになってきている。一方、お中元ギフトセンターでの持ち帰りは依然減少傾向である。
		百貨店(経営企画担当)	来客数の動き	・前月後半は新型コロナウイルスの新規感染者数が急増して来客数が落ち込んだが、今月は持ち直し、客単価も前年と比較して上向いている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・依然、新型コロナウイルス感染症の報道により個人の行動への注意喚起は続いているものの、新型コロナウイルス感染症発生前の社会生活に戻っている印象を受ける。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているが、猛暑が続いたことで夏物商材が動いており、来客数は前年を上回っている。しかし、まだ新型コロナウイルス感染症発生前の状況には戻っておらず、経営的には厳しい状態が続いている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・コロナ禍でも行動制限がなく、猛暑が続いたため、来店頻度が高くなり、飲料水や軽食の販売が上昇している。近隣の商圏外からも旅行や行楽移動の客が増加しており、新型コロナウイルス感染症の発生前に戻っている。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・お盆期間中の客の動向が上向きである。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・商品供給が多少改善傾向にあり、客に商品を提供できる環境に戻りつつある。
		家電量販店(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るっているが、来客数は伸長している。
	乗用車販売店(役員)	来客数の動き	・新型車発表の効果により、来客数が増加している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光旅館組合 (職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているが、ブロック割等の影響で宿泊客は多い。ただし、旅先での感染もあるため、受入れができない事態も起きている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているにもかかわらず、インバウンドがない状況でも国内旅行来客数は増加している。イベントも新型コロナウイルス感染症の発生前に近い状態で行われており、夜の歓楽街では人出がやや減少しているものの、昼間の人出はほぼ回復している。
		通信会社(営業担当)	それ以外	・様々な催物が3年ぶりに復活し、消費活動も活発化している。
		ゴルフ場(営業)	来客数の動き	・来客数は増えているが、客単価が下がっている。
		百貨店(経理担当)	競争相手の様子	・市内大型店3店の売上の見通しは前年比108.9%、3か月前の売上は前年比121.6%で推移しているが、2019年比で考えると変化がない。特にお盆以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で失速している。
		百貨店(業務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症による行動規制はないものの、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしていることもあり、客が自粛している。売上は前年を上回っているが、新型コロナウイルス感染症発生前の状況には3割ほど達していない。今後も新型コロナウイルス感染症が前提にあることを考えなければいけない。
		コンビニ(エリア担当・店長)	販売量の動き	・値上がりの影響で、単価は上がっているが、来客数と買上点数に伸びがない。売上は前年と比較すると若干伸びているが、利益は余り上がっていない。
		衣料品専門店(店員)	来客数の動き	・緊急事態宣言下の前と比べると新型コロナウイルス感染症の影響は少ないが、猛暑続きのためターゲットであるシニア層が外出自粛しており、来客数が伸びない。
		乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・新車の長納期がいつになっても解消しないため、販売店は無駄な費用が発生している。利益確保が難しく、厳しい経営状況が続いている。
		住関連専門店(経営者)	単価の動き	・久しぶりの都市部でのキャンペーンで、来客数は多くないが、客単価は良い状況である。店でも前月に引き続き、下見の客が購入決定のために来店している。
		その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	販売量の動き	・7～8月はお中元シーズンとなり、店頭の販売量は一定数の売上有る。2～3か月前と比較すると売上増加しているが、前年との比較では、ほぼ横ばいである。
		その他小売の動向を把握できる者[ショッピングセンター] (支配人)	お客様の様子	・8月も終盤に差し掛かり、前年比110%の商況である。しかし、3か月前は新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いており、ゴールデンウィークの消費動向が非常に活発だった点を考慮すると、期待したほど大きなプラスではないと判断している。加えて、前年のお盆時期は豪雨により売上が良くなかったため、この水準が決して良い状況とは考えられず、景気は変わらない。
		その他小売の動向を把握できる者[ショッピングセンター] (統括者)	来客数の動き	・今年は、お盆期間中の行動制限がなかったため前年と比べ来場者は多いが、海外からの客が戻るまでは厳しい状況である。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・補助事業の影響もあり、僅かではあるが客足が戻りつつあったが、当県でも新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最高を更新しており、高止まり状態である。そのため、徐々に客が減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・人の動きは前年より良いが、タクシーよりレンタカーの利用が増加している。
		通信会社(統括者)	販売量の動き	・携帯電話等の販売数は前年や計画値をやや下回っている。店外イベントを開催する等、販売促進策を実施している。
		競馬場(職員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大は続いているが、今のところ大幅な客足減少にはつながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	お客様の様子	・客先である工場に弁当を納入しているが、新型コロナウイルス感染症の発生前は月に1万食あったが、コロナ禍になり1～2割程度減少している。この3か月も8000食前後で推移している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・夏休みやお盆で、外出も時間にとられないため、客の出足は悪くない。景気は両極端で良いときもあれば、悪いときもある状態である。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向ではあるが、8月は長期のイベント実施により、来場者数は前月増加で推移している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑が続き、来街来客数や来客数が減少している。加えて、新型コロナウイルス感染症が再拡大しているため、外出する客も減り、売上が落ち込んでいる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街では、イベントが3年ぶりに再開され、お盆は悪いなりに来街者があった。しかし、お盆を過ぎて新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最大を更新し、来街数や来客数が極端に減少している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・社会状況のなかで、商売が悪い方向に進んでいるため、売上に繋がらず、来街数も少ない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・春先から来客数が増加し、景気が顕著に回復したと思われたが、8月になり再び景気が下降傾向である。
		一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・全国的な高温障害と東北、北海道の長雨の影響で、物が少なく高額で、商品が悪くなっている。需要が少なく厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・漁獲量が少ないため、入荷量が全く増えず、価格が高騰し売行きが悪い。例年であればお盆後には魚は捕れるが、今年は漁に出ても魚がいない状況となり危惧している。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、販売先の飲食店でのキャンセルが多くなり、販売量が落ちている。加えて、飲食店の責任者や従業員に新型コロナウイルス感染症患者が発生し、休業になっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた行事が中止になり、キャンセルになることもあり、花の需要が減少し売上に響いている。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	お客様の様子	・今年の暑さは、例年の暑さと違い36度以上が毎日続いている。そのため、人の動きは鈍く、通行人がほとんどいない。新型コロナウイルス感染症と暑さで売上は減少しており、ここ数か月間は状況に変わりがない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・物価高騰により買上点数は低下しており、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で買物頻度の低下が、アパレルを中心として顕著に数値へ表れている。来客数と買上点数の前年割れが収益ダウンに直結している。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・社員のなかにも新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者が増加し、勤務シフトが思うようには組めず売場作りにも影響が出ている。消費者の生活様式も変化し、外出する機会が増えており、食品スーパーマーケットでの買いだめ等は少なくなっている。加えて、相次ぐ値上げで消費者の価格選別志向はますます強まり、ディスカウント店に客足が向いている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・猛暑が続き、売上が芳しくない。値上げ商品が多く、価格に反映させているため、1品単価が2～3%上昇しており、その影響で買上点数が8～9%低下し、購入額が減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響は、甚大である。大幅な来客数減少と感染防止対策、人手不足などあらゆる影響が出ている。現在経営している店舗では、深刻な状態となっており、早急に大幅な経費削減をしなければ、運営できない厳しい状況が継続している。
		コンビニ（店長）	それ以外	・スタッフの新型コロナウイルスの新規感染者数が増加すると、人件費や店の一時閉店などの事態が予想される。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・7～8月の売上は非常に悪い。ボーナス商戦が7月にはなく、8月へ期待をしていたが、更に輪を掛けて落ち込む状況になっている。来客数も少なく、家電の全般的な商材も利益が悪い。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・車体価格が上昇しているため、新車の需要が減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（代表）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、景気は悪くなっている。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けており、外食が減少し、景気も若干悪くなっている。加えて、学校では2学期が始まることで、更に感染が拡大すると予想され、やや悪い状況が継続する。
		通信会社（社員）	来客数の動き	・オンライン化が進んでいることも悪くなっている要因の1つである。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・光回線の販売件数が減少している。
		通信会社（役員）	単価の動き	・大きく変わらない状態が続いている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・前年より入場者を確保できていたが、8月中旬頃から予約数が伸び悩み、9月の予約は更に悪化傾向にある。新型コロナウイルス感染症に伴うものか、それ以外の要因によるものかは不明である。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・この業界では8月は忙しい時期であるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、客の外出自粛傾向もあり、商品の動きが悪い。何か対策があれば客の動きも良くなり、自粛生活にも変化が出ているため、景気が良くなる。
		美容室（店長）	お客様の様子	・店のお盆休みを3日取った影響もあるが、今までになく客足が悪く、周辺でも悪い状況である。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症第7波の拡大が想定を超え、客からのキャンセルが増加している。また、ウクライナ情勢に伴うエネルギーの高騰や消耗品等の負担も増え、収益が前年より大きく落ち込んでいる。
		設計事務所（代表）	単価の動き	・物価が引き続き上昇している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・4月には商店街で火災が発生しているが、8月にも再度、火災が発生したため、商店街で通行止めがあり、電話やガス、水道、電気のライフラインを使用することができず、最悪の状態で営業を続けている。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や猛暑による外出自粛、また、物価上昇で消費者の購買意欲は全くない。
	×	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ファミリー層を中心に来客数は減少傾向にある。宝石や時計など高額品は堅調に推移しているが、衣料品等の商材供給不足もあり、売上は低迷している。
	×	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品の売上が前年より下降傾向である。畜産や酒類、調理素材関連が低迷している。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・8月になり来客数が減少している。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出にちゅうちょしている。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・7月の下旬には客が入っていたが、8月に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していくにつれキャンセルも増え、新型コロナウイルス感染症の第7波の流行で客が来店しなくなっている。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いたようにあったが、また新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているため人通りが悪くなり、休業している店が多くなっている。当店では県外からの里帰りの客が若干あった程度である。
	×	観光型ホテル（総務）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波により、飲食提供がメインの宴会場運営をしているため、宴会需要が見込めず厳しい状況である。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・夏休みは、それなりに来客数も増えていたが、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしている影響で、9月以降の予約状況はかなり悪い。
	×	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築に関しては、材料や製品の価格高騰や入手困難が続いているため、建築価格の上昇が続いている。その反面、所得は増えておらず、生活必需品の値上げもあり、自由に使える資金が減っている。
企業動向関連		-	-	-
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・閑散期に当たる時期ではあるが、受注が比較的順調であった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(九州)		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先では、これまでの問題点が解決され始めているため、現況は2～3か月前と状況は同じであるが、今後は上向きになっていく。
		電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・自動車関連では、特に電動関連のモーターや、半導体関連での引き合いが続いている。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・地方の多くの建設業社では、公共工事に依存する会社が非常に多い。第2四半期になってようやく発注工事が多くなり、選択もできるようになっており、現状が少しでも長く続いてほしいのが本音である。しかし、受注は抽選であるため、確実に受注できるわけではなく、多くの契約をつなげていきたい。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・百貨店の売上や住宅販売が持ち直しているほか、旅行商材や飲食店の売上も緩やかながら回復傾向にある。また、雇用情勢も改善傾向を示している。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売上が若干上向きになっている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先が採用や人材教育投資に積極的になっている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・夏休みであったことも影響し、7月より状況が良くなっている。ホテルなどの観光業では客が非常に多く、店や宿泊の予約が取れないこともある。一方、ビジネスホテルや飲酒がメインの飲食店では、相変わらず厳しい経営が継続している。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月の滑り出しは順調であったが、お盆辺りから状況に変化が出てきた。期待したほどの引き合いがなくなり、売上が伸びていない。特にお盆明け以降は、新型コロナウイルス感染症のまん延で動きが悪くなっており、商品の値上げをせざるを得ない状況となり、今月は計画の90%を維持できるか懸念される。また、工場生産では新型コロナウイルス感染症の感染があり、思うような生産ができない厳しい状況である。
		金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・物件数や引き合い数は増加傾向にあるが、他社との競争は厳しく、材料の価格高騰を製品価格に転嫁できない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き続き受注は好調を継続しているものの、原材料、副資材、消耗品の品薄や価格高騰は更に深刻になっている。
		その他製造業 [産業廃棄物処理業]	取引先の様子	・原材料調達が難しく生産量が増えない。製造ラインは増設しているが思うようには進んでいない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりが続いているが、イベントやレジャー関連で、規模の縮小や入場制限等の対策を講じながら、中止や閉鎖を回避する動きが目立っている。新型コロナウイルス感染症に感染し自宅療養となる人が増え、食品スーパーマーケットでは、飲料水やレトルト食品等の売行きが好調である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症による行動制限は発令されていないが、新型コロナウイルス感染症の再拡大を背景に人流の増加や、小売業やサービス業の回復も落ち着いている。製造業では、資源価格の高騰や供給不足を背景とする生産抑制が継続している。
		新聞社 [広告]（担当者）	受注量や販売量の動き	・通信販売関連の新聞広告出稿は少し増加傾向であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で旅行や自治体観光関連の出稿が減少している。
		広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、受注量や売上は低水準ながら堅調に推移している。しかし、当社を含めて競合他社も値上げの要請が相次いでいる。
		広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・客先からの発注件数や予算総額に大きな変化がない。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・受注量に変化の兆しがみえない。
	その他サービス業 [コンサルタント]（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村からの調査や計画、設計の委託業務を請け負っているが、全体的に発注量が少ない状況で指名競争入札があった場合、予定価格の3～4割の値段で入札に応じる業者が増えている。比較的、大手の事業所もそのように対応している場合があり、このため、景気が悪い状況にあると考えられる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		繊維工業（営業担当）	それ以外	・資材の値上げを提示されているが、最低賃金が上がった場合、工賃を上げることができるか危惧される。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現況は、最低賃金上がり、加えて燃料や資材関係も値上がりになり、肝腎な下請関係も2割程度の値上がりが見込まれている。8月までは、どうにか現状維持で受注してきたが、今後は先行きが不安な状態である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・好調であった半導体製造装置関連の金属加工品の受注が落ちている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3年ぶりに新型コロナウイルス感染症による行動制限のないお盆ではあったが、飲食店等への納品は新型コロナウイルス感染症発生前の水準には戻らず、荷主は今後も消費の期待ができないため、輸入を減少させる傾向にある。また、物価高により住宅の受注も低迷しており、木材を使用する戸建て住宅などの販売不振もあり、木材関係はかなり厳しい状況が続いている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・物価上昇や新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、出荷量が少なく倉庫内の在庫は増えており、保管許容量が逼迫している。新型コロナウイルス感染症発生時の景気低迷と状況が似ており、良い状態ではない。
		金融業（営業）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症第7波の拡大は想像以上であり、景気に影響が出ている。しかし、行動制限がないため、今までより影響は少ないが、新型コロナウイルスの新規感染者数は多い。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が7月末から8月にかけて増加傾向にあり、感染者の自宅療養や濃厚接触者の自宅待機により、取引先の中小企業などでは、人手不足や仕事の進捗の遅れで景気が悪くなっている。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症第7波や局部的豪雨、記録的猛暑、また、続く値上げで、購入意欲が落ちている。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響やロシアのウクライナ侵攻等により、円安傾向が継続しており、変化がみられない。また、世界的な半導体不足等から物品供給は遅延する傾向となっているため、企業として受注が厳しい状況にある。
		x	農林水産業（従業者）	取引先の様子
雇用関連 (九州)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているが、イベント等の中止はなく稼働が戻りつつある。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣の求人数が今月は多い。その原因として、求人依頼内容が社員の不補充枠や産休交代などで問合せが増加しており、今まで社内調整で人件費を抑えていた部分が若干動いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりになっているものの、以前のように経済が止まることはなく、夏休みやお盆などがあることで人の動きも活発になり、交通や観光、飲食などでの消費も上向いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が3か月前より上昇しており、また、有効求人数の前年比の増加が16か月連続している。全産業での求人数の増加も継続している。特に宿泊業からは7月までに来館者が戻っており、8月には予約が入っている。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・調査や学校へのヒアリングでは、2023年卒業予定の学生の内定状況は前年より良い。また、合同企業説明会の参加学生も少なく前年の6割ほどである。かなりの学生が内定をもらっており、景気が良くなっていると考えられる。
		民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・お盆は求職者の動きが落ち着いているが、9月に向けて徐々に応募数も回復している。併せて有効求人倍率も3か月連続の上昇となり、企業の採用に関する問合せが増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・飲食店の夏需要が伸びておらず、どの店も来客数が少ない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・有効求人倍率は、前年比が13か月連続で改善しているが、幅広い業種で人手不足感が強まっている。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・2023年卒業求人数は、前年と比較すると増加しており、内定報告をする学生は前年比では大きな変化はなく、企業の新卒求人も緩やかではあるが、上昇傾向にある。ただし、長引くロシア、ウクライナ情勢の更なる悪化や物価上昇が続くことになれば、日本経済は大きな打撃を受けることになり、今後の企業の求人にも影響が出てくる。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・社員が退職しても、補充をしない企業もあるため、注文数が2割ほど減少している。季節要因もあるが、求職者の活動も鈍っている。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・行動制限が適用されていないため、新型コロナウイルス感染症の第6波ほどではないが、やはり人の動きが3か月前と比較すると、景気が減速している。旅行会社の広告は、一時期ほどの出稿量はないが、ゼロにはなっていない。また、求人広告のお盆特集は、前年を下回る結果になっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数や濃厚接触者による休業者が多く、業務が滞ることが増えている。
	x	-	-	-

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)		その他専門店〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・注文数が増えている。
		観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの5月の販売室数が前年比68%増加なのに対し、8月の販売室数は前年比240%増加とプラス幅が大きくなっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・前年と比べると観光客も増えて客の動きが活発になっており、売上が上昇している。
		乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・客の反応もなかなか良い。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・業者の情報によると、離島や本島北部の観光地のホテル、飲食店は行列ができるほど観光客が来ているが、官庁、ビジネス街の飲食店は全く客が入っていない。観光客は増えつつあるが、地元客、特にサラリーマンの客が外に出していない。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・3か月前、また前年の同時期と比べても、宿泊客数は増えている。ただし、夕食宴会に関してはまだゼロのままである。新型コロナウイルス感染症の影響で停滞が続いている。
		一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者が減る様子はない。重症者数は減っているが、新規感染者数は横ばいである。イベントなど催事がキャンセルになり今後のワクチン以外の対策が必要である。
		百貨店（店舗企画）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染状況の報道で病床率が100%を超えたときは来客数は減ったが、月前半のお中元商戦の動員では前年を超えていた。まだ新型コロナウイルス感染者数は高止まりしているが、行動制限がないことで、回復の兆しはうかがえる。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・物価高騰に伴い、客のなかで節約意識が高まっているようにみられる。客1人当たりの買上点数が減少している状況が続いており、全体の販売量が前年に比して10%弱下回り、ぜいたく品など余計な買物はしない傾向が見受けられるのが判断理由である。
		スーパー（販売企画）	販売量の動き	・値上げ等により1品単価は上がってきているが、買上点数が減ってきているため、客単価が減っている。来客数も減っているため大変厳しい状況にある。旧盆行事は良かった。
		コンビニ（副店長）	単価の動き	・夏休みの突入、規制のないお盆、各種イベントと期待大の今月であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う規制や報道と、イメージしていたようには伸びていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・沖縄での新型コロナウイルス感染症の大流行の影響が出ている。来客数の動きが鈍い。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・旅行客数、出張客数も徐々に増えてきているが、出発間際のキャンセルもかなりあるため、売上の伸びは横ばいである。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・コロナ禍前と比べ金融機関の融資審査が厳しくなっており、分譲マンション購入希望者が融資承認がもらえず断念するケースが多い。
		住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も依然として多いせいか、マンションモデルルーム及び戸建て住宅への来場者数も芳しくない。契約件数については一定数いる。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・売上の前年比は3か月前には86%であったのが、今月は80%と下げてしまっている。来客数も同様に減っているため外販活動などに注力しているが厳しい状態である。
	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、大変懸念される。この状況が改善されなければ来客数は増加しないのではないかとみている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		食料品製造業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・沖縄は観光シーズンの真ただ中で、観光客数は前年に比して増加が続き売上は好調であるが、生産者物価の上昇が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・具体的に進んでいたが、新型コロナウイルスの感染状況が収まらないため不安になり、キャンセルになった商談が2件ある。
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・外食系のチェーンによって、店舗が増加するのもある一方、閉店で減少するのでもあって店舗の形態によって明暗が分かれており、一概に良しあしが測れない状況になっている。
		会計事務所（所長）	それ以外	・政治やコロナ禍の社会、経済の状況がやや小康状態で落ち着いているように見受けられる。
		窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に見積依頼が若干減少しており、受注も減少し工場稼働率が低下している状態である。
x	-	-	-	
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・求人数に関して、3か月前の予測より減少幅が小さく、企業の採用意欲が継続しているようである。リゾートホテル関連や接客サービス関連の求人も予測より増加している。新型コロナウイルス感染症をきっかけに減少した業界の求人数回復傾向がみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・レンタカーやホテルの観光関係の求人数は、新型コロナウイルス感染症の第7波の間も増えており、取下げなどの動きはなかった。
		人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・派遣先含めて、最近の物価高や燃料の価格高騰の影響で、良い話を聞かなくなっている。しかも、新型コロナウイルスの感染拡大で派遣スタッフを含め仕事を休まざるを得ない従業員が増加し、売上や経営に影響を及ぼしている。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件に対しての応募者が少なく、人手不足感はなくなる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数も減少することなく安定しているため、今後もこの状況が続くとみられる。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・求人企業との情報交換のなかで新型コロナウイルス感染拡大や燃料費の高騰、円安などの状況が重なり、業績の悪化や方針転換などの様々な話をうかがうことがある。
x	-	-	-	